

## 高知市男女共同参画推進プラン2021 令和6年度事業一覧

～めざす将来像「ジェンダー平等社会の実現」～

基本目標	取組の方向性	事業No.	事業・取組	担当課	自課評価	事業費(千円)	合計(千円)	関連する数値目標	数値目標
1 を一つ人ぐひとまりしのよう権が尊重される社会	(ア) 多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1	男女共同参画の日「8月1日」事業	人権同和・男女共同参画課	A	48	6,420	(③)	
		2	広報・啓発と情報発信(市民等向け)	人権同和・男女共同参画課	A	20		(③)	
		3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	人権同和・男女共同参画課	A	0		(③)	
		4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	人権同和・男女共同参画課	A	0		(③)	
		5	レインボースクール	人権・こども支援課	A	344		(③)	① 市の審議会等で女性がない審議会数 0会
		6	学校における男女平等教育の推進	人権・こども支援課	A	0		(③)	② 市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合 部長副部長 14%以上
		7	健康教育(性に関する指導)の推進	学校教育課	B	0		(③)	部長 22%以上
		8	市職員に対する研修	人事課	A	251		(③)	課長補佐 45%以上
		9	ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	ソーレ	B	5,571		(③)	③ 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目)
		10	男女共同参画事業(SOGIに関する講座)	ソーレ	A	186		(③)	④ 増加(社会全体 25%以上ほか全8項目)
	(イ) 政策、方針決定過程における男女平等の促進	11	審議会等の女性登用の推進	人権同和・男女共同参画課	B	0	157	(①)	
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	職員厚生課	B	0		(②)	
		13	人材育成事業(女性の活躍応援)	ソーレ	A	157		(③)	
		14	情報の収集及び提供、広報・啓発事業(政治分野への女性の参画)	ソーレ	A	-		(③)	
2 社D会Vをやつはくラリスマメシントうのない	(ア) DV・性犯罪等暴力を根絶するための啓発の充実	15	人権啓発の推進	人権同和・男女共同参画課	A	1,305	3,010	(⑤)	
		16	DV防止啓発	人権同和・男女共同参画課	A	0		(⑤)	
		17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	ソーレ	A	448		(⑤)	
		18	児童虐待予防推進事業	子ども家庭支援センター	B	814		(⑤)	④ DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合 30%以下
		19	情報モラル教育の推進	少年補導センター	A	443		(⑤)	⑤ DVを内容まで知っていると答えた人の割合 70%以上
	(イ) DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20	人権全般における相談体制の充実	人権同和・男女共同参画課	A	95	2,412	(④)	⑥ セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合 70%以上
		21	DV等被害者支援ネットワーク会議の連携強化	人権同和・男女共同参画課	A	0		(④)	
		22	DV被害者の市営住宅入居	住宅政策課	B	-		(④)	
		23	相談事業	ソーレ	A	1,670		(④)	
	(ウ) あらゆるハラスマントを防止するための啓発の充実	24	相談体制の充実	ソーレ	B	647		(④)	
		25	ハラスマント防止研修	人事課	A	0	295	(⑥)	
		26	出前講座	ソーレ	A	139		(⑥)	
		27	性的な少数者に関する電話相談	ソーレ	B	156		(⑥)	
3 平家庭をや実働現くし場まにしおよいうてジエンドー	(ア) ワーク・ライフ・バランスの推進	28	男女共同参画推進企業表彰	人権同和・男女共同参画課	D	25	139	(⑧)	
		29	男性職員の子育て参加の促進	職員厚生課	B	0		(⑨)	
		30	「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	産業政策課	B	6		(⑩)	⑦ 待機児童数 0人
		31	ワーク・ライフ・バランス事業(男性家事・介護基礎講座)	ソーレ	A	108		(⑪)	⑧ 高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数毎年3社以上
	(イ) 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	32	地域の子育て支援・子育て相談	子ども育成課	A	138,259	200,283	(⑫)	
		33	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	A	13,000		(⑬)	⑨ 高知市男性職員の育児休業取得率(2週間以上) 85%以上
		34	多様な保育サービスの充実	保育幼稚園課	B	47,432		(⑭)	⑩ 高知市職員の技術職に占める女性の割合 15%以上
		35	生活支援サービスの充実	基幹型地域包括支援センター	B	1,592		(⑮)	⑪ 社会資源「集いの場」状況 705以上
	(ウ) 女性活躍の推進	36	高知市職員の技術職に占める女性の割合の向上	職員厚生課	B	0	27,016	(⑯)	
		37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	子育て給付課	C	7,516		(⑰)	
		38	雇用促進・就労支援	産業政策課	B	18,703		(⑱)	
		39	女性消防吏員増加に向けた取組	消防局総務課	B	0		(⑲)	
		40	女性のための就業支援事業	ソーレ	B	797		(⑲)	
4 ま参で地、域によると男で、うすす共防め同災	(ア) 地域活動における女性の参画の促進	41	地域コミュニティ再構築事業	地域コミュニティ推進課	C	14,536	15,143	(⑫)	
		42	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	D	296		(⑫)	
		43	消防団の充実強化	消防局総務課	B	0		(⑫)	⑫ 高知市における自治会長に占める女性の割合 25%以上
		44	エンパワメント支援	ソーレ	A	311		(⑫)	
	(イ) 防災分野における女性の参画の促進	45	防災におけるジェンダー平等の啓発	人権同和・男女共同参画課	A	73	10,929	(⑬)	
		46	避難所運営体制の整備	地域防災推進課	A	884		(⑭)	⑬ 防災士認定登録者に占める女性の割合 50%以上
		47	れんけいこうち防災人づくり塾	防災政策課	A	2,338		(⑮)	
		48	人材育成事業(女性防災プロジェクト)	ソーレ	A	7,634		(⑯)	
5 を生涯実にさせたまるし健よう生活	(ア) あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援	49	さまざまな年代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催	基幹型地域包括支援センター	B	35,571	164,261	(⑭)	
		50	生涯学習活動の促進	文化振興課	B	-		(⑭)	⑭ 健康寿命(65歳の平均自立期間) 男性 18.90年 女性 22.89年
		51	スポーツ推進事業	スポーツ振興課	C	1,573		(⑭)	
		52	がん検診	健康増進課	B	95,027		(⑮)	⑮ 子宮頸がん検診受診率 20%以上
		53	成人歯周病検診	健康増進課	B	4,996		(⑯)	⑯ 乳がん検診受診率 22%以上
		54	こころの相談窓口	健康増進課	A	267		(⑰)	
		55	思春期保健事業	母子保健課	B	0		(⑰)	
		56	妊娠・出産期等の支援	母子保健課	A	3,518		(⑰)	
		57	幼児健診	母子保健課	B	21,639		(⑰)	
		58	相談事業【No.22再掲】	ソーレ	A	1,670		(⑰)	⑰ 低出生体重児出生率 9.5以下

計 58事業

計22課

A:30 (51.7%) B:23 (39.7%) C:3 (5.2%) D:2 (3.4%)

【評価基準】  
 A:目標達成(100%以上)  
 B:概ね達成(80~100%未満)  
 C:少し下回った(60~80%未満)  
 D:大きく下回った(60%未満)



高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)			
1	A	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・8月1日「高知市男女共同参画の日」に関連した事業を実施した。 ①啓発作品応募数 492点 (川柳:466点、写真:26点) ②男女共同参画推進表彰企業 1社 ③パネル展開催(7月29日～8月23日、会場: 市役所本庁舎) ④図書企画展開催(8月13日～8月31日、会場:オーテピア高知図書館)	自課評価 R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80～100%未満) C:少し下回った (60～80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・男女共同参画の日表彰作品を効果的に啓発に活用し、男女共同参画やジェンダー平等への関心を高めることができるよう市民の目に触れるような機会を増やす情報発信を行う。
一人ひとりの権利が尊重される社会をつくりましょう  多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	ア  1 男女共同参画の日「8月1日」事業  ◆事業(概要) 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。  ◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、条例の理念及び8月1日の「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、男女共同参画やジェンダー平等の意識を浸透させる。  ◆活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。  (参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	1 男女共同参画の日「8月1日」事業  ◆事業(概要) 8月1日の「高知市男女共同参画の日」に関連した啓発事業を実施する。 ・啓発作品募集 ・パネル展示及び図書企画展 ※ 8月1日は昭和58年に本市に初めて婦人(女性)担当を配置した日。  ◆男女共同参画の視点からの目的 事業の実施により、条例の理念及び8月1日の「高知市男女共同参画の日」の周知を図るとともに、男女共同参画やジェンダー平等の意識を浸透させる。  ◆活動指標(目標) ・男女共同参画推進に関する啓発作品応募数 300点以上を維持する。  (参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	人権同和・男女共同参画課  写真 3F展示の本棚  オーテピア高知図書館での図書企画展	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7  45 48 49 48	◆推進委員会の点検項目  必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】  【課題等】		

## 高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
1	A	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	◆対応《改善、今後どのようにするか》
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう  多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	2 広報・啓発と情報発信 (市民等向け)  ◆事業(概要) 市民や企業に向けて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する啓発、情報発信や学習機会の提供を行う。 <市民向け啓発>パネル展、出前講座等 <企業向け啓発>啓発紙の作成・配布、にじいろのまち宣言賛同企業の募集等 <情報発信> 市広報紙、SNS等による広報  ◆男女共同参画の視点からの目的 様々なツールを用いて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する視点を社会に広げる。  ◆活動指標(目標) ・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年4回以上開催する。 ・要請に応じて出前講座講師を派遣する。  (参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	2 広報・啓発と情報発信 (市民等向け)  ◆事業(概要) 市民や企業に向けて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する啓発、情報発信や学習機会の提供を行う。 <市民向け啓発>パネル展、出前講座等 <企業向け啓発>啓発紙の作成・配布、にじいろのまち宣言賛同企業の募集等 <情報発信> 市広報紙、SNS等による広報  ◆男女共同参画の視点からの目的 様々なツールを用いて男女共同参画やジェンダー平等、多様な性に関する視点を社会に広げる。  ◆活動指標(目標) ・ジェンダー平等、多様な性に関するパネル展を年4回以上開催する。 ・要請に応じて出前講座講師を派遣する。  (参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》  ・パネル展4回(高知市男女共同参画の日、女性に対する暴力をなくす運動など) ・高知市総合防災訓練でのブース出展 ・出前講座等12回(地域、学校、市職員など延べ422名参加) ・プライド月間キャンペーン2024(レインボーフラッグ掲揚、高知城レインボーライトアップ、帯屋町アーケードへのフラフ、フラッグの掲出)の実施 ・市広報「あかるいまち」のコラム「くらしの中のSDGs」に記事掲載(7月:部落差別の解消に向けて、12月:人権が尊重されるまちづくり、3月:「分担する」から「シェアする」へ)  ◆検証《達成状況、その要因》  ・去年度から引き続きプライド月間キャンペーンを実施し、多様な性に関する啓発を行った。 ・パネル展を行う際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。	R3 R4 R5 R6 R7  決算額 (千円) 327  担当課 写真等  人権同和・男女共同参画課  	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)
				◆検証《達成状況、その要因》  ・去年度から引き続きプライド月間キャンペーンを実施し、多様な性に関する啓発を行った。 ・パネル展を行う際には、市広報や課Instagram、庁内デジタルサイネージ等で情報発信を行い、広い広報に努めた。	◆対応《改善、今後どのようにするか》  ・課Instagramを中心にSNSやパネル展示等、引き続き様々な手段による啓発を行い、ターゲットを意識した効果的な啓発が行えるよう努める。
				◆推進委員会の点検項目  必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。	◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】
				効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】
				有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	
				工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

## 高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
	No.	事業名									
一人ひとりの 多様な性の 尊重と固定的 な役割分担 意識の解消 される社会をつくりま しょう	1	ア	3	広報・啓発と情報発信(庁内向け)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・庁内向け掲示板でパネル展やソーレの講座等に関する情報発信を行った。 ・男女共同参画推進本部部局推進員会では、「男性育休を語る交流会」の実施及び「アンコンシャス・バイアス解消に向けた啓発パネル」の作成を行った。 ・庁内各窓口へのALLYミニフラッグの設置を継続し、ALLYの見える化を継続した。	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き、庁内向け掲示板での情報発信と、男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を行う。	
				◆事業(概要) 庁内向け啓発・情報発信を通じ、男女共同参画やジェンダー平等、多様な性についての意識の浸透を図る。 ・庁内向け掲示板による情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動推進 ・ALLY(アライ)の見える化推進	◆検証《達成状況、その要因》 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を通し、職員に対し男女共同参画の意識の浸透を図った。						
				◆男女共同参画の視点からの目的 庁内向けに男女共同参画やジェンダー平等、多様な性のあり方に関する情報発信を行う。	◆推進委員会の点検項目		◆推進委員会から点検コメント				
				◆活動指標(目標) ・庁内向け掲示板での情報発信 ・男女共同参画推進本部部局推進員会の活動を行う。 ・ミニフラッグ、ピンバッジ等でALLY(アライ)の見える化を推進する。	決算額(千円)	R3 845	R4 125	R5 105	R6 0	R7	【特に良かった点等】
				(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	担当課	人権同和・男女共同参画課					【課題等】
					写真等						
						必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。				
						効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。				
						有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。				
						工夫慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

## 高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
1	A	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・R7.3.31時点登録件数 34件 (うちR6年度件数 16件)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・パートナーシップ登録制度についての周知を図るとともに、引き続き適切な運用について務める。
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	4	多様な性のあり方を尊重する取組の推進	◆事業(概要) ・高知市パートナーシップ登録制度の運用	◆検証《達成状況、その要因》 ・申請時のプライバシーへの配慮、手続きに関する問い合わせへの対応等、適切に実施できた。 ・県内市町村等のパートナーシップ制度導入及び自治体連携検討に関する相談への対応や県主催意見交換会への参加をした。また、他県からの視察にも対応した。
		◆男女共同参画の視点からの目的  生物学的な性別、性自認、性的指向に関わらず、個人として尊重され、その個性と能力を発揮する機会が確保される社会づくりを目指す。	決算額(千円)	R3 R4 R5 R6 R7 0 0 0 0	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。
		◆活動指標(目標) ・高知市パートナーシップ登録制度の適切な運用 ・申請書類等の性別記載欄の見直しの実施	担当課	人権同和・男女共同参画課	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
		(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加	写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】
				有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	
				工夫配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名						
一人ひとりの 多様な性の尊重と 固定的な役割分担意識の解消 される社会をつくりましょ	ア 外部講師を派遣し、教職員・保護者・児童生徒が「性の多様性」について学ぶ場を提供する。 トランスジェンダーの方から直接話を聞くことで、その人の生き様から「ありのままに生きることの素晴らしさ」を心で感じるとともに、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶ。 ◆男女共同参画の視点からの目的 「多様な性のあり方」について学ぶことで、性別にとらわれることなく、自分らしさや一人一人の個性を尊重することの大切さを認識し、理解を深める。	1	ア No. 5 レインボースクール	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 今年度は、9日間で18校の小中学校に対し、暁プロジェクト 大久保暁さんを講師として派遣し、性の多様性についてご自身の経験とともに講話を行った。実施日を増やしたことでも、参加者は小学生・中学生・教職員を合わせ、のべ3,544名となった。	◆検証《達成状況、その要因》 令和6年度の実施日 6/13(木)午前、午後の2校で実施 6/14(金) " " 6/15(土)午前1校で実施 6/19(水)午後1校で実施 6/20(木)午前、午後の2校で実施 6/21(金) " " 6/22(土) " " 10/24(木)午前、午後の2校で実施 10/25(金) " " 10/26(土) " "	自課評価 R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》 学校からの申請は益々増加しており、児童・生徒の感想文からも肯定的評価を得ている。一度実施して終わりではなく、継続した児童・生徒・保護者への教育・啓発が必要であり、今後も学びの機会の提供が望まれている。実際に小学校で講演を聞いた子どもが、中学校でも話を聞いたことで、学びが深まり、聞く態度のみならず、積極的に質問や感想を述べる様子が見られ、事業の効果が実感できた。 本事業は初年度(R2)の申請が12校、2年目(R3)は15校、3年目(R4)が25校と、年を追うごとに申請する学校が増加している。また、リピートでの申請も増加傾向にあるため、令和6年度は18校に実施校を増やして実施した。これらの状況を踏まえ、より多くの児童生徒、保護者への啓発を進めるため、予算措置の要望を行い、令和7年度も継続して実施予定。 県内において自身の経験に基づき、啓発や講演活動に携わる方はまだ少数である。今後も引き続き県内在住の性的指向・性自認に関わる団体の方との連携も行い、より多くの児童生徒、保護者への学びや啓発につなげたい。
		決算額(千円)	R3 166	R4 167	R5 224	R6 344	R7	◆推進委員会の点検項目	【特に良かった点等】
		担当課	人権・こども支援課						【課題等】
		写真等							
		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。						
		効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。						
		工夫 配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
		No.	事業名							
一人ひとりの 人権が尊重 される社会をつ くりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	1 ア	6 学校における男女平等教育の推進	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》  例年、年間2回実施する人権教育主任研修会の年度当初の会にて、高知市の13の人権課題について児童生徒の発達段階に合わせて学習計画を立て、年度末には各学校で実践された内容を取りまとめた実践概要報告を作成し交流を行うことを提案している。  令和6年度に実施された、校内研修や年次研修等での研修等において、人権教育は特別なことをするのではなく、すべての教育活動の中で行われるものであることや、家庭科での「家族の役割」などの機会に、男女平等の視点に留意し学習するなど、指導者の少しの配慮により、様々な形で啓発が行われることを積極的に伝えていくようにした。	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》  本事業は、日々の授業に対し、人権課題の視点との関連を考慮し、授業を構成し、児童生徒への支援・指導を行うことを目的とするものである。 学校で行われる授業は、文部科学省の定めた学習指導要領を基準として、各学校で編成された教育課程のもと、各教科、道徳、総合的な学習、特別活動など標準授業時数に照らして教科横断型で進められている。 特に中学校では、家庭科や社会科の授業で「男女共同参画社会基本法」にふれ、家庭を支える社会の仕組みについて学習している。 今後も、これまで同様、年次研や校内研等、様々な教職員研修の場において、高知市の13の人権課題の一つとして「女性」の視点に触れ、教職員への啓発を進めていく。	
			◆事業(概要)  学校における男女平等に関する学習や男女共同参画についての学習を推進するため、人権教育に関する情報提供や各学校への指導・支援を行う。					◆検証《達成状況、その要因》  市立小・中・義務教育学校(59校)において、男女平等や男女平等参画を実現するための人権学習が計画的に実践され、令和6年度末の実践概要報告集において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合が100%であった。		
			◆男女共同参画の視点からの目的  次代を担う子どもたちが、成長していく過程において個性と能力を發揮できるよう、男女共同参画について学び理解する機会を提供するとともに、指導・支援していく。	決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7	◆推進委員会の点検項目  ・事業がプランの数値目標に結びつか。
			◆活動指標(目標)  市立小・中・義務教育・特別支援学校(59校)において、男女平等や男女共同参画を実現するための人権学習が計画・実践され、令和6年度末の人権教育実践概要において「女性」の人権課題への取組実績として記載される学校の割合を100%とする。	担当課	人権・こども支援課					◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】
			(参考)関連する数値目標  男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	写真等						【課題等】
				必要性						
				効率性						
				有効性						
				工夫						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
		No.	事業名							
1	A	7	健康教育(性に関する指導)の推進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》  保健教育に関する外部講師派遣事業の授業では、大学教授や助産師、産婦人科医師による講演を実施し、二次性徴や個人差があること、男女の体の仕組みや違いについて知ることを発達段階に応じた内容で学ぶことができた。また、専門家から妊娠と出産について科学的に説明してもらうことで、命についての考えを深めることができた。 性に関する知識量の差があり、自分事にして考えることが課題としてある。また、複雑な家庭環境の児童生徒がいるため、事前に講師等との打合せの際に伝える等した。 助産師や産婦人科医師による専門的な立場から、パワーポイント資料や動画を工夫して、見たり聞いたり児童生徒にわかりやすく命の大切さを具体的に学習できた。	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》  ・体育科、保健体育科における「性に関する指導」をより深めるための方法として、外部講師を招いた指導や、胎児人形や沐浴人形など教材を用いた体験型学習の提案も引き続き行う。 ・中学生の中で、性交を「いのち」と結びつけることができておらず、軽く捉えている生徒がいたり、ひとり親家庭や経済的困難さがある家庭が多い中、正しい知識を得ることで、命や自他を尊重する人間関係について考えることを学ばせたい。 ・養護教諭の研修会等で、性に関する指導の計画的な取組を啓発する。	
一人ひとりの 権利が尊重 される社会を つくりましょ う	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	◆事業(概要)  学校における「性に関する指導」について、体育科・保健体育科の他に生活科、理科、家庭科、道徳科等関連教科においても実施する他に、学校行事といった特別活動等、教育活動全体を通じて計画的に実施する。子供たちの心身の発育・発達や性に関する内容について理解させ、健康づくりの大切さを認識させる。また、危険を回避するとともに、自らの健康を管理し、改善する能力を育てる。		授業を通して、思春期では身体や心に変化が起こり、その成長には個人差があることを理解することができた。振り返りシートで「体のこと、心のこと、困ったことや悩みができたら誰かに相談しようと思いましたか」の問いに、「分からない」と回答した児童生徒がいた。 相談先については、日ごろから困ったときにどうやって助けを求めたらいいかを伝えていく必要がある。		◆検証《達成状況、その要因》  決算額(千円)		R3 R4 R5 R6 R7	0 0 0 0	◆推進委員会の点検項目  必要性 効率性 有効性 工夫 配慮
		◆男女共同参画の視点からの目的  ・生命や人格の尊重、男女平等や男女相互の理解と協力の重要性、自己や他者を尊重する態度を育み、望ましい人間関係を築いていくける資質や能力を育てる。 ・性に関する科学的知識や自他の心身の健康のためにできることを学ぶことを通して、命や自他を尊重した行動選択・意思決定ができる態度を育成する。		◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】		◆男女共同参画の視点からの目的  ・事業がプランの数値目標に結びつくか。		◆推進委員会から点検コメント  【課題等】		
		◆活動指標(目標)  ・胎児人形やエプロンシアター等の教材を用いた体験型学習といった、命の大切さを具体的に学習できるように指導・支援する。 ・養護教諭の研修会等で性に関する指導の取組を啓発する。		◆推進委員会の点検項目  ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】		◆推進委員会から点検コメント  【課題等】		
		(参考)関連する数値目標  男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加		◆推進委員会の点検項目  ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。		◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】		◆推進委員会から点検コメント  【課題等】		
				◆推進委員会の点検項目  ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		◆推進委員会から点検コメント  【特に良かった点等】		◆推進委員会から点検コメント  【課題等】		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)			Action(見直し)									
		No.	事業名			R3 自課評価	C 評価基準	R4 A:目標達成	R5 B:概ね達成	R6 C:少し下回った	R7 D:大きく下回った							
一人ひとりの 多様な性の 尊重と固定的な役割分担意識の解消 される社会をつくりましょ	ア こうちづくり広域連合と連携し、男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。 また、女性職員の能力開発や意識改革のため、自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。	8	市職員に対する研修	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市実施の人権研修の他、こうちづくり広域連合実施の研修へ対象となる職員を派遣し、人権に関する啓発及び意識改革を行った。</li> </ul>			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣研修は、各部局研修委員会から派遣研修の推薦を受け、選考を行った。</li> </ul> <p>●階層別人権研修(新採研修200人、基本(一般)研修172人、基本(管理職)研修61人)、人権・コンプライアンス研修(79人)</p> <p>●職場人権研修(3,422人)</p> <p>●ダイバーシティ推進研修(34人)</p> <p>●派遣研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村アカデミー「人権を尊重した地域社会の形成」「管理職を目指すステップアップ講座」(各1人)</li> <li>・国際文化アカデミー「女性リーダーのためのマネジメント研修」(1人)</li> <li>・日本経営協会「地方自治体女性職員交流研究会」(1人)</li> </ul> <p>人権研修推進員研修を人権とコンプライアンス推進の2部構成として実施。受講率も高く、職場人権研修の実施に真剣に取り組む所属長の姿勢が伺える。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>男女共同参画社会づくりや人権に関する最新の法令や政策を定期的に反映しながら、より効果的な研修機会を提供していく。</p> <p>また、各部局研修委員会とも連携しながら、研修案内を全庁的に周知し、引き続き、各種研修機関へ職員を積極的に派遣していく。</p>										
				<p>◆事業(概要)</p> <p>こうちづくり広域連合と連携し、男女共同参画社会づくりに係る研修や人権研修を実施する。</p> <p>また、女性職員の能力開発や意識改革のため、自治大学校や市町村アカデミーなど各種研修機関へ積極的に派遣する。</p>														
				<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の人権に対する啓発等、人権に対する市職員の意識啓発・能力発揮促進のために研修を実施する。</li> <li>・階層別研修や管理職の研修等に男女共同参画社会づくり研修を実施、全職員また意思決定権限のある管理職員の意識改革を促す。</li> </ul>			<p>◆推進委員会の点検項目</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>100</td> <td>177</td> <td>251</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	48	100
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7													
48	100	177	251															
		<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こうちづくり広域連合実施の階層別研修を受講することで、各階層で男女の人権に関する啓発を継続する。</li> <li>・職員の意識改革のために、2年目課長補佐級職員をダイバーシティ推進研修へ派遣する。</li> <li>・女性リーダー職員育成のため、研修機関等へ計画的に派遣することで女性職員の能力開発の機会を継続する。</li> </ul>			<p>◆推進委員会の点検項目</p>	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>												
		<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上ほか全8項目増加</p>																
		<p>◆効率性</p> <p>人事課</p>			<p>◆効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> </ul>	<p>◆効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</li> </ul>												
		<p>写真等</p>																
		<p>◆有効性</p>			<p>◆有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul>	<p>◆有効性</p>	<p>◆有効性</p>	<p>◆有効性</p>										
		<p>工 配 夫 慮</p>																

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名			自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	A A B B D	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った
一人ひとりの 多様な性 尊重と固定的な役割 分担意識の解消 される社会をつくりましょ	ア ソーレにおける広報・啓発及び情報提供	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 <広報・啓発> ・ソーレ・スコープ発行(年4回) 各7,000部 ・メールマガジン発信件数 延べ5,569人 (登録者数477件) ・ホームページアクセス数 47,614件 ・SNSによる情報発信 Facebookリーチ数 10,013件 X(旧Twitter)インプレッション数 54,932件 Instagramインプレッション数 3,610件 ・旭やるかい祭り(高知市)及び人権フェスティバル(高知市)において啓発展示や情報紙等配布 <情報提供> 男女共同参画に関する図書・DVD・情報等の提供 図書・DVD購入、図書団体貸出、新聞クリッピング等 ◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。	◆事業(概要)	◆検証《達成状況、その要因》 概ね目標は達成できているが、X(旧Twitter)インプレッション数が指標を下回った。SNSは若い世代の利用が多いとされるが、関心があるワードを検索し情報を得るというより、既にフォローをしているサイトのタイムラインをチェックしているという傾向があり、まず当センターをフォローしてもらえるよう、登録投稿の時間帯や興味を引いてもらいやすいよう、内容の工夫が必要。					
		◆活動指標(目標)	決算額(千円)	R3 5,859	R4 5,464	R5 5,947	R6 5,571	R7	
		・情報紙 7,000部発行 ・メールマガジン発信件数 延べ4,800件 ・SNSによる情報発信 Facebook リーチ数 10,000 Twitter インプレッション数 200,000 ・団体貸出先 10件	担当課	ソーレ					
		(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加	写真等 (男女共同参画講座の様子をInstagramで紹介)	 					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																							
1	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>講座名:思うがままに服を着る、それはあなたが自由である証</p> <p>開催日:10月12日(土) 講師:田中 史緒里(株式会社クーザス代表取締役) 参加者:29名、オンライン30名</p> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SOGIに関する講座 ジェンダーの多様性への理解を深め、性自認、性的指向の尊重につながるよう啓発に取り組む。</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SOGIに関する講座 参加者数 30名</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自課評価</th> <th>R3</th> <th>—</th> <th rowspan="2">評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</th> </tr> <tr> <th>R4</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>R5</th> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <th>R6</th> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <th>R7</th> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>市民に向けたSOGI及びジェンダーへの理解について講座を行い、啓発に努めた。テーマの通り一切の妥協をしない生き方に惹かれたのか10代から20代の参加者が6割を超えていた。また講師が20代であることで、若い世代が等身大の生き方を学ぶとともに、LGBTに対する理解を素直に捉えていく機会になったと考える。オンライン配信の実施により、参加者が増加した。</p>	自課評価	R3	—	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	R4	B	R5	B		R6	A		R7		D:大きく下回った	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>引き続き、次年度もSOGIに関する講座を実施し、性の多様性から自分自身のことを考え、多様性を認めあうことの大切さを学んでもらう。</p> <p>実施時期:9月～10月頃 開催方法:オンデマンド配信</p>								
自課評価	R3	—	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った																									
	R4	B																										
R5	B																											
R6	A																											
R7		D:大きく下回った																										
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <th>—</th> <td>127</td> <td>147</td> <td>186</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">ソーレ</td> </tr> <tr> <td>写真等(講座チラシ)</td> <td colspan="5"> </td> </tr> </tbody> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	—	127	147	186		担当課	ソーレ					写真等(講座チラシ)								
決算額(千円)	R3	R4		R5	R6	R7																						
	—	127	147	186																								
担当課	ソーレ																											
写真等(講座チラシ)																												

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)		
1	イ	No. 事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・府内において審議会等への女性委員の登用について理解を求めるため、男女共同参画推進本部本部会、幹事会において、女性委員の登用及び取組状況を報告した。 ・女性委員がいない審議会の所管課にヒアリングを行う等登用について働きかけを行った。 ・府内掲示板で女性委員の登用を呼びかけた。	自課評価 R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き府内への働きかけを継続するとともに、より効果的な手段を検討していく。 ・府内関係課へのヒアリング等の結果をもとに分析する。
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう  政策、方針決定過程における男女平等の促進	11 審議会等の女性登用の推進  ◆事業(概要) 市が所管する各種審議会の女性委員比率の向上及び女性委員がいない審議会等の数を減少させるため、府内関係課へ調査、働きかけ等を継続的に行う。  ◆男女共同参画の視点からの目的 政策・方針決定過程への男女平等の促進により、多様な市民の意見を反映させることができる。  ◆活動指標(目標) ・府内関係課へ調査を行うとともに、女性委員登用の働きかけを行う。	(参考)関連する数値目標 市の審議会等で女性がいない審議会数:0会	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7  担当課 人権同和・男女共同参画課  写真等	◆検証《達成状況、その要因》 ・女性委員を含まない審議会 12会(前年度15会) ・女性委員比率 31.8%(前年度30.8%) ・女性委員比率は前年度より上昇した。	◆推進委員会の点検項目  必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫 配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】  【課題等】	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)			
1 イ  一人ひとりの 人権が尊重 される社会を つくりましょ う	政策、方針決定過程における男女平等の促進	No.	事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・高知市特定事業主行動計画において、令和7年度時点の数値目標等を設定しており、数値目標の達成に向けて、特定事業主行動計画や前年度の実績数値の他、ワークライフバランスに関する情報等について、府内掲示を活用して周知を図った。	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	C C C B 評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》 女性職員の活躍のためには、長時間勤務の是正や男性の家事・育児等への参加、固定的な性別役割分担意識の解消等が課題であり、女性職員に限らず広く職員全体への意識付けが必要であると考えている。そのためにも、引き続き府内掲示を活用し、ワークライフバランスや女性活躍に関する情報提供に努めたい。
		12	各役職段階に占める女性職員の割合の向上	◆事業(概要) 高知市特定事業主行動計画に基づき、事務系の職種について男女の区別なく実績・能力に基づき、管理的地位への登用を行う。	◆検証《達成状況、その要因》 ○令和6年度の実績(女性職員の割合) ・部長・副部長級:20.0% ・課長級:20.2% ・課長補佐級:42.6%			
		◆男女共同参画の視点からの目的 女性が能力を十分に発揮できる職場環境を形成し、多角的な視点で業務を推進することで、住民の多様なニーズに対応できる。		各役職段階に占める女性職員の割合について、数値目標(令和7年度末時点)の達成には至っていないものの、全体的に上昇傾向が続いている。				
		決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。
		必要性						◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
		担当課	職員厚生課					◆推進委員会から点検コメント 【課題等】
		写真等						
		効率性	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業実施方法は適切か。</li><li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li></ul>					
		有効性	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li><li>・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</li></ul>					
		工夫 配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li></ul>					
(参考)関連する数値目標 市職員の女性管理職(課長補佐以上)の割合:部長副部長14%以上 課長22%以上 課長補佐45%以上								

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																	
1 イ	No.	事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 女性の活躍応援講座【オンデマンド配信】</p> <p>講座名：「完璧じゃないほうが魅力的なリーダーになれる！～仕事と人生を豊かにする3つの法則～」 開催日：10月21日～11月3日 講師：山本 幸美（株式会社プラウド代表取締役社長） 参加者：150名</p> <p>◆事業(概要) ・女性の活躍応援 職場や地域で活躍する女性が政策・方針決定過程への参画等、活躍の場を広げ、リーダーシップを發揮するために必要な能力を磨く講座の実施。 (オンライン配信)</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・女性リーダー育成につながる研修の実施 ・企業研修としての活用を想定としたオンラインで実施</p> <p>(参考)関連する数値目標 男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目)：社会全体25%以上 ほか全8項目増加</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>◆検証《達成状況、その要因》 女性活躍に必要なマインド&amp;スキルアップにつながった。企業研修として活用できるよう、オンライン配信により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらつた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>91</td> <td>424</td> <td>160</td> <td>157</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ 写真等(講座チラシ、オンライン配信画面)</p> 	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	R4	A		R5	A		R6	A		R7					◆検証《達成状況、その要因》 女性活躍に必要なマインド&スキルアップにつながった。企業研修として活用できるよう、オンライン配信により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらつた。				決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	91	424	160	157		<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 次年度も企業研修としての活用を想定し、オンライン配信により実施。</p> <p>実施時期：10月 実施方法：オンライン配信</p>
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った																																			
	R4	A																																				
	R5	A																																				
	R6	A																																				
	R7																																					
			◆検証《達成状況、その要因》 女性活躍に必要なマインド&スキルアップにつながった。企業研修として活用できるよう、オンライン配信により実施。広報を高知県経営者協会に協力してもらつた。																																			
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																	
	91	424	160	157																																		
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう	政策、方針決定過程における男女平等の促進	13 人材育成事業(女性の活躍応援)																																				

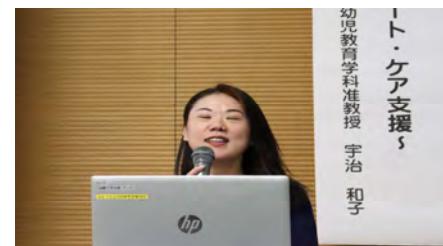
基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名						
1	イ	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》		R3	A	評価基準	◆対応《改善、今後どのようにするか》
		14	情報の収集及び提供、広報・啓発事業(政治分野への女性の参画)	・ソーレホームページの統計資料を収集し、ホームページに関連データのリンク先を掲載した ・県民からの企画提案事業「高知の先駆的女性群像～男女平等と権利のために立ち上がった女性たち～」講演会の実施を委託 参加者:33名		R4	A	A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	講演、研修会の開催等啓発事業を通じた政治分野への女性の参画に関する情報の提供を行うとともに、情報紙やホームページ、SNSによる情報発信や多様な啓発ツールによる意識啓発を行う。
一人ひとりの人権が尊重される社会をつくりましょう  政策、方針決定過程における男女平等の促進				◆事業(概要)	◆検証《達成状況、その要因》  様々なデータの提供、講演会等企画運営を委託することにより、女性参画の現状及び女性の政治分野への参画拡大の重要性について、県内広域での周知をすることができた。				
				・情報収集及び提供、広報・啓発 情報紙、SNS、ホームページ等を活用し、政治分野への女性の参画に関する情報提供及び啓発を行う。					
				◆男女共同参画の視点からの目的  社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。					
				◆活動指標(目標)  情報紙及びSNSを通じ、政治分野への女性の参画に関する情報等を発信する。					
				(参考)関連する数値目標  男女の地位が「平等」と回答した人の割合(全8項目):社会全体25%以上 ほか全8項目増加					

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
2	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>●啓発活動 計27回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をなくする強調旬間記念講演会 演題:「部落差別の現在-部落解放への展望」 講師:内田 龍史さん 参加者190名</li> <li>・部落差別をなくする強調旬間映画「破戒」上映会 参加者:29名</li> <li>・企業向け講演会 演題:「誰もが知らぬ間にハラスメントの加害者に!？」 講師:大谷 邦郎さん 参加者74名</li> <li>・人権の花運動(人権擁護委員との連携)の実施 小学校等10か所</li> <li>・サッカー、野球教室(高知県人権啓発センター主催)での啓発 計2回</li> <li>・出前講座 12回 計422名</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>A</th> <th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>R4</td><td>A</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>R5</td><td>A</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>R6</td><td>A</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>R7</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部落差別をなくする強調旬間事業及び企業向け講演会のアンケートで「人権についての関心や理解が深まった」との回答が平均して85%を超えていた。</li> <li>・出前講座では「じんけんってなんだろう」「防災をジェンダー平等の視点で考えよう」等のジェンダーや性の多様性に関する出前講座を行った。</li> </ul>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R4	A			R5	A			R6	A			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き講演会や出前講座等の啓発活動を行っていく。その中でオンライン開催等、状況に応じた手法を検討する。</li> </ul>
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																						
	R4	A																							
	R5	A																							
	R6	A																							
	R7																								
DV・性犯罪等等暴力を根絶するための啓発の充実	DV・性犯罪等等暴力を根絶するための啓発の充実	15 人権啓発の推進	<p>◆事業(概要)</p> <p>人権尊重の意識を高める啓発活動を実施する。(講演会、関係機関と連携した人権啓発、出前講座など)</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、社会全体の人権意識の高揚をはかる。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>講演会等の啓発活動を年15回以上とする。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,691</td> <td>1,457</td> <td>1,418</td> <td>1,305</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	1,691	1,457	1,418	1,305			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>事業がプランの数値目標に結びつか。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>効率性</th> <th>事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。</th> </tr> <tr> <th>有効性</th> <th>事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</th> </tr> <tr> <th>工夫・配慮</th> <th>男女共同参画の視点からの配慮があるか。</th> </tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>	必要性	事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	男女共同参画の視点からの配慮があるか。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
1,691	1,457	1,418	1,305																						
必要性	事業がプランの数値目標に結びつか。																								
効率性	事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。																								
有効性	事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																								
工夫・配慮	男女共同参画の視点からの配慮があるか。																								

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																					
2	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展開催(11月5日～11月15日、高知市役所本庁舎1階北側通路)</li> <li>・府内トイレのDVカードの設置(44箇所)</li> <li>・課Instagramでの記事掲載</li> <li>・府内デジタルサイネージでのDV防止啓発動画の放映(11月1日～11月30日)</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVに関する相談先の周知に努める。</li> <li>・DVについて正しい知識を持てるよう、若年層への啓発に努める。</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>DV等について正しい認識が持てるよう、若年齢期からの啓発に努める。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>DV等の防止啓発のために、パネル展開催(年1回以上)、SNSによる広報、府内トイレへのDVカードの設置(39箇所)を継続する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展開催(11月5日～11月15日、高知市役所本庁舎1階北側通路)</li> <li>・府内トイレのDVカードの設置(44箇所)</li> <li>・課Instagramでの記事掲載</li> <li>・府内デジタルサイネージでのDV防止啓発動画の放映(11月1日～11月30日)</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVに関する相談先の周知に努める。</li> <li>・DVについて正しい知識を持てるよう、若年層への啓発に努める。</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>DV等について正しい認識が持てるよう、若年齢期からの啓発に努める。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>DV等の防止啓発のために、パネル展開催(年1回以上)、SNSによる広報、府内トイレへのDVカードの設置(39箇所)を継続する。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>B</th> <th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きパネル展の開催、DVカードの設置、課Instagramへの記事掲載を行った。</li> <li>・パネル展とあわせて、府内デジタルサイネージでDV防止啓発動画を放映することで、効果的に啓発を行うことができた。</li> </ul>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R4	C			R5	A			R6	A			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等を活用し、若年層を対象に継続して啓発を行っていく。</li> <li>・DVで悩んでいる方に必要な情報が届くように他機関と協力した啓発方法を検討する。</li> </ul>
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80～100%未満) C:少し下回った(60～80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																							
	R4	C																								
	R5	A																								
	R6	A																								
	R7																									
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう			<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>560</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>担当課 人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p>	R3	R4	R5	R6	R7	560	0	0	0		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>事業がプランの数値目標に結びつか。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>効率性</th> <th>事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。</th> </tr> <tr> <th>有効性</th> <th>事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</th> </tr> <tr> <th>工夫・配慮</th> <th>男女共同参画の視点からの配慮があるか。</th> </tr> </tbody> </table>	必要性	事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>			
R3	R4	R5	R6	R7																						
560	0	0	0																							
必要性	事業がプランの数値目標に結びつか。																									
効率性	事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。																									
有効性	事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																									
工夫・配慮	男女共同参画の視点からの配慮があるか。																									

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)						
2	A	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	R3	B	評価基準	◆対応《改善、今後どのようにするか》			
		17	DV・デートDVに関する啓発及び情報提供	・学生・生徒等を対象にデートDVに関する出前講座を実施し、意識啓発及び情報提供を行い、参加者へのDV防止啓発を実施 実施件数:8件 参加者:953名	R4	B	A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	男女共同参画及び女性問題について、デジタル啓発誌や動画等の多様な啓発ツールを作成し、出前講座やSNS等を通じて啓発し、県民の正しい理解につなげる。			
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等等暴力を根絶するための啓発の充実	◆事業(概要)		・DV防止啓発講演会を開催 参加者:会場57名、オンライン586名	自課評価	R5	A	◆検証《達成状況、その要因》			
		・啓発(講演会、啓発事業、出前講座等) DV防止を広く啓発する講演会、啓発事業、出前講座、関連講座の実施		・小学生と高校生ボランティアにDV防止の周知・意識啓発を行った。		R6	A	出前講座や講演会等の実施により、参加者のDV防止に向けた理解が進んだ。			
		◆男女共同参画の視点からの目的		・情報紙 ソーレスコープ112号にDV防止講演会(R6年度実施)の概要及び「性的同意」の重要性についての寄稿を掲載し、意識啓発を行った。		R7					
		社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。		・パープルリボン・オレンジリボンツリーを中学、高校、大学等に設置し、啓発を行った。	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	
		◆活動指標(目標)			338	346	343	448			
		・講演会(オンライン配信) 参加者数100名									
		・啓発事業の実施									
		・出前講座、関連講座(家族のコミュニケーションに関する講座)の実施									
		(参考)関連する数値目標									
		DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上									



基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)														
2 ア  D V ・ 性 犯 罪 等 等 暴 力 を 根 絶 す る た め の 啓 発 の 充 実	No.  18 児童虐待予防推進事業  ◆事業(概要) ・要保護児童の早期発見や適切な対応を図るために、関係機関、関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者等により構成される「要保護児童対策地域協議会」において、当該児童に関する情報や支援についての考え方を共有し、適切な連携のもとで対応する。 ・児童虐待問題に対する深い关心と理解促進、また、虐待の発生予防、早期発見・早期対応推進のため、児童虐待対応研修の実施や、広報紙、講演等を通じて、継続的な広報・啓発活動を行う。 ◆男女共同参画の視点からの目的 子どものいる家庭におけるDVは、児童の人権を著しく侵害し、その心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるとともに、将来の世代の育成にも懸念を及ぼす問題であり、関係機関等が連携しつつ、適切な対応に努める必要がある。 また母親が被害者である場合、長期の支配下で依存傾向が強く、判断能力の低下や、経済的自立に段階的な対応が必要な場合があり、特に女性相談支援センターや母子生活支援施設との連携が重要となる。 ◆活動指標(目標) ・実務者会及び新規ケース連絡会を毎月開催し、関係機関との情報共有や援助方針の見直し等を行うことにより、要保護児童等への適切な支援を図る。 ・児童虐待についての正しい理解と認識を深めることができるように、児童虐待予防講演会(年1回)を実施する。 ・関係機関に対し、児童虐待対応研修及び子育て応援支援研修を継続し行う。  (参考)関連する数値目標 DVを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上	<p>◆具体的な取組(工夫や配慮した点等)</p> <p>要保護児童対策地域協議会の実施(実務者会議年24回・新規ケース連絡会年12回・代表者会議年1回・個別ケース会議年220回)を開催し、児童虐待予防をメインとして男女の人権尊重にも触れた。</p> <p>・児童虐待予防講演会を、令和6年11月10日に開催。(参加者46名、アンケート回収率93%)広報紙あかるいまち以外に、各関係機関へのチラシの配布し、ホームページ、SNS(facebook、LINE)、ケーブルテレビ等を利用して、積極的に呼びかけし参加者を募った。</p> <p>・関係機関に対し、児童虐待対応研修及び子育て支援研修を実施した。(延べ8回、延参加者97名)</p>	<p>◆評価基準</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>B</td><td>A:目標達成(100%以上)</td></tr> <tr><td>R4</td><td>B</td><td>B:概ね達成(80~100%未満)</td></tr> <tr><td>R5</td><td>B</td><td>C:少し下回った(60~80%未満)</td></tr> <tr><td>R6</td><td>B</td><td>D:大きく下回った(60%未満)</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>◆検証(達成状況、その要因)</p> <p>講演会のテーマは「ネット・ゲーム依存症～i Swingを用いた支援の提案～」。現代の多様化するさまざまな依存症疾患に対応している講師を招聘し、ネット・ゲーム依存症について理解を深め、児童虐待予防や児童を適切に養育していくよう子育て世帯への啓発を行った。それぞれの立場で子どもの抱える課題と寄り添い方を見つめ直すきっかけとなった。なお、本年度は講師の了承を得て、後日、府内関係機関に向けてアーカイブでの視聴を実施した。</p> <p>児童虐待対応研修においては、児童虐待対応にかかる発生予防、早期発見・早期対応推進がメインとなっている。子育ての部分では、日頃から母だけではなく父についても積極的な子育てへ関わりを持つことも現場では伝えており、男女共同参画の視点についても触れる等して意識啓発している。</p>	R3	B	A:目標達成(100%以上)	R4	B	B:概ね達成(80~100%未満)	R5	B	C:少し下回った(60~80%未満)	R6	B	D:大きく下回った(60%未満)	R7			<p>◆対応(改善、今後どのようにするか)</p> <p>令和7年度も引き続き講演会を通しての一般市民向けへの児童虐待予防の啓発と関係機関への児童虐待対応研修を行い、また、必要に応じて子ども家庭支援センター職員が関係機関へ出向いて、出前講座も行っており児童虐待予防を積極的に推進していく。昨年度は医療法人社団光風会三光病院院長、海野順氏を招き、ネット・ゲーム依存症について理解し、児童虐待予防や児童を適切に養育できるよう講演をしていただいた。毎年市民向けの講演会テーマは変更しており、今年度は講演会テーマを「ペアレント・トレーニング」とし、行動的理解、環境調整や不適切な行動への対応等について保護者が学ぶことにより、子どもとの関わりに理解を深め、児童虐待予防や児童を適切に養育していくよう子育て世帯への啓発に努める。</p> <p>講演会は市民向けとして、子育て中の聴講者をより多く獲得するため、広報手段等を工夫し、昨年度より増やしていく。</p> <p>関係機関への虐待対応研修では、事例を上げ積極的にワークショップ形式も行い、関係職員の対応力の向上を図っており、今後も継続していくこととしている。さらに保育所への出前研修も行っていくこととしている。</p>
R3	B	A:目標達成(100%以上)																	
R4	B	B:概ね達成(80~100%未満)																	
R5	B	C:少し下回った(60~80%未満)																	
R6	B	D:大きく下回った(60%未満)																	
R7																			
		<table border="1"> <tr><td>決算額 (千円)</td><td>R3 846</td><td>R4 837</td><td>R5 853</td><td>R6 814</td><td>R7</td></tr> </table> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr><td>必要性</td><td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td></tr> <tr><td>工夫・配慮</td><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </table> <p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>	決算額 (千円)	R3 846	R4 837	R5 853	R6 814	R7	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			
決算額 (千円)	R3 846	R4 837	R5 853	R6 814	R7														
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																		
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																		
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																		
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
		No.	事業名									
D V や ハ ラ ス メ ン ト の な い 社 会 を つ く り ま し よ う	ア  D V や ハ ラ ス メ ン ト の な い 社 会 を つ く り ま し よ う	19	情報モラル教育の推進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・学校等からの出前授業の依頼には100%対応した。 ・基本的な情報モラル授業だけではなく、依頼してきた学校の実態や発達段階に応じて、当該教員と教材や課題内容の確認等を行い、常に授業内容を変化させながら授業実践した。 ・少年補導センターの職員を派遣する際も、小学校・中学校の補導教員が行く場合や、教員と警察署の職員がペアになって行く場合等、依頼内容に応じて変えていく工夫をした。 ・小・義務教育学校の2年生と6年生に情報モラルの合言葉「あみのめせかい」をデザインした啓発クリアファイルを配付した。 ・小・義務教育学校4年生から6年生までの3年間を通して使用することを目的とした「あみのめせかいソート」を、小・義務教育学校4年生に配付した。	◆事業(概要) インターネットに関する正しい知識を身に付け、ネットトラブルを未然に防止するため、情報モラル教育を進める。 ・講演、出前研修 ・広報、啓発	◆男女共同参画の視点からの目的 未成年の健全育成という観点から加害者にも被害者にもさせないという意識で啓発・指導に取り組む。	◆活動指標(目標) ・依頼のあった学校等で情報モラルの講演や出前授業を実施する。依頼への対応 100% ・インターネットの危険性を伝えるとともにフィルタリングの必要性や正しいネットとの付き合い方等を指導、広報していくよう啓発を行う。	(参考)関連する数値目標 —	R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・令和6年度より児童生徒の家庭学習にGIGAタブレットが活用され毎日の持ち帰りが行われることにより、ネットトラブルの増加や低年齢化が予想されるため、低学年からの授業依頼が増えてきた。今まで以上に学校と連携して、児童生徒だけでなく保護者や教職員への情報モラル教育の推進や啓発が必要になると考える。しかし、出前授業の実施が少年補導センター主体になってしまっているため、学校主体で取り組んでいただけるように依頼書への記載や、授業内容の改善、「あみのめせかいソート」の活用等を呼びかけていく。また、年々新しいソフトや機能が開発されているので、新しい技術に対応できる知識や授業内容・課題の習得、研究をしていくようする。
				◆検証《達成状況、その要因》 ・学校からの依頼には100%対応できた。(96団体・199回) ・学校からは、実際にあったトラブルや事案をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストレートに指導があり、助かったという声や、色々な校種や職種の方が来ていただいたことで、より専門的な観点で授業を展開してくれて効果的だったという声をいただいた。 ・日常的にタブレットの使用や家庭への持ち帰りが始まり、家庭でのタブレットの使用時間が長くなっていたり、低学年のうちからスマートフォンを所持していたりと低学年からの授業依頼も増え、対応してきた。	◆検証《達成状況、その要因》 ・学校からの依頼には100%対応できた。(96団体・199回) ・学校からは、実際にあったトラブルや事案をもとに授業を実施してくれたことで児童生徒にはストレートに指導があり、助かったという声や、色々な校種や職種の方が来ていただいたことで、より専門的な観点で授業を展開してくれて効果的だったという声をいただいた。 ・日常的にタブレットの使用や家庭への持ち帰りが始まり、家庭でのタブレットの使用時間が長くなっていたり、低学年のうちからスマートフォンを所持していたりと低学年からの授業依頼も増え、対応してきた。	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント					
				決算額(千円) 528	R3 R4 R5 R6 R7 574 282 443	必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかか。	【特に良かった点等】					
				担当課 写真等	少年補導センター	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
						有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】					
						工夫配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)			
2	イ	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・人権相談 39件(うち、DVに関するもの12件)必要に応じ、専門の窓口を案内した。 ・職員が各種研修(人権啓発指導者養成研修会、県主催犯罪被害者等支援研修会他)に参加し、資質向上を図った。 ・特設人権相談(人権擁護委員による相談)について市ホームページでの案内をした。 ・6月1日「人権擁護委員の日」に合わせ、人権擁護委員の周知を目的に、公用車スピーカーから制度について放送し、市内を巡回した。	自課評価 R3 R4 R5 R6 R7	A A A A A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き研修等に積極的に参加し、職員の相談スキルの向上等に努めるとともに、人権擁護委員等と連携し、相談に対応していく。
DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	20 人権全般における相談体制の充実	◆事業(概要) ・様々な人権問題についての相談に応じ、関係機関と連携し必要な支援を行う。 ・特設人権相談所の開設 ・相談にあたる職員の資質の向上を目的に各種研修会へ参加する。  ◆男女共同参画の視点からの目的 あらゆる人権課題の解決とすべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指す。  ◆活動指標(目標) ・人権相談の受付、必要な機関につなげる。 ・研修等を通じて相談にあたる職員の資質向上及び相談窓口の周知を図る。 ・法務局人権擁護委員と連携し、市民からの予約に応じて特設人権相談所を開設する。  (参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7 15 48 70 95	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】		
			担当課 人権同和・男女共同参画課 写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】			
				有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。				
				工夫・配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。				

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
2 イ DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府内ネットワーク会議を開催(4月24日)。</li> <li>・県主催の会議、研修会へ出席(2回)。</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため、スムーズな府内・府外の連携を図る。</li> <li>・相談者の安全に配慮し、DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員の育成に務める。</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること、個別の状況があることに留意し、その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応により、被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する。</li> </ul> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者を支援する関係各課との連携、情報共有を図る。</li> <li>・DV被害者の個人情報が漏洩しないよう個人情報の取扱に留意する。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府内ネットワーク会議を開催(4月24日)。</li> <li>・県主催の会議、研修会へ出席(2回)。</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急かつ重大な被害を未然に防止するため、スムーズな府内・府外の連携を図る。</li> <li>・相談者の安全に配慮し、DV等被害者支援の知識や能力を持つ職員の育成に務める。</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者が配偶者等からの暴力で心身ともに傷ついていること、個別の状況があることに留意し、その人の立場に配慮した対応を徹底する。不適切な対応により、被害者に更なる被害(二次的被害)が生じることのないよう配慮する。</li> </ul> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者を支援する関係各課との連携、情報共有を図る。</li> <li>・DV被害者の個人情報が漏洩しないよう個人情報の取扱に留意する。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>A</th> <th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府内ネットワーク会議にて、関係各課との情報共有、意見交換を行った。</li> <li>・県主催の会議、研修会へ出席し、相談対応のスキルアップを図るとともに、府外関係機関との連携強化を図ることができた。</li> </ul>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R4	A			R5	A			R6	A			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き定期的にネットワーク会議を開催する。また、府内関係各課と密に連絡を取り合い、情報共有することで、連携を深める。</li> <li>・女性支援相談センター等の府外関係機関とも連携強化を努める。</li> </ul>
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																						
	R4	A																							
	R5	A																							
	R6	A																							
	R7																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th> <th>・事業がプランの数値目標に結びつか。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </tbody> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0	0		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>		
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
	0	0	0	0																					
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																								
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																								
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																								
配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																								

## 高知市男女共同参画推進プラン2021個別事業実施状況点検シート

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
	No.	事業名			自課評価			
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう （イ）DV・性犯罪等暴力の被害者への支援	2 2 DV被害者の市営住宅入居	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・DV被害を受けており、住宅に困窮しているとの申し出がある方からの相談に応じた(来所しての相談は、R6年度中3件)。 ・公募時の申込条件の緩和ができる旨を説明し、緊急の場合は目的外入居についての説明を行った。	R3		評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・相談者から問い合わせがあった際は、まず相談機関へ相談済みか問うこととし、まず被害につき相談の上、発行される証明書が必要であることを伝える。 ・事業内容について、聞きたいということであれば説明することとし、安易に被害状況について聞き取りを行わない(最終的に当課へ繋がることとなれば、その際に詳しく、関係機関及び本人から聞き取る必要があるため)。	
◆事業(概要) DV被害者の住宅確保のため、公募時の申込条件の緩和(DV被害者である確認ができたものについては婚姻関係が解消されたとみなし、母子父子世帯向け住宅または単身向け住宅への入居資格を有する)や緊急を要する事情がある場合には市営住宅の目的外入居を行う。		R4						
◆男女共同参画の視点からの目的 関係各課と連携し、DV被害者が安心して支援を受けられる体制を充実していく。		R5						
◆活動指標(目標) DV被害者からの相談に応じるとともに、住民異動や福祉に関する相談についても関係各課と連携を取り、市営住宅に係る情報提供についても積極的に行っていく。		R6	-					
(参考)関連する数値目標 DVIについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下		R7						
決算額(千円)		R3	R4	R5	R6	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】	
担当課		住宅政策課				・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		
写真等						・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】	
工夫 配慮						・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		



高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)															
2 イ DVやハラスメントのない社会をつくりましょう D V・性犯罪等暴力の被害者への支援	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修</li> <li>テーマ:「対人援助職のセルフケア」 全2回実施</li> </ul> <p>①セルフケア力を高める 参加者:会場15名、オンデマンド110名</p> <p>②マインドフルネス体験 参加者:19名</p> <p>・相談関連講座</p> <p>①「近いしき仲にも礼儀あり?!～心地よい親子関係～」 参加者:29名</p> <p>②女性居場所づくり「ゆるりのしつぽ」 実施回数:6回 参加者:延べ126名</p> <p>※「コスメバンクプロジェクト」と連携し、化粧品セットを初参加で希望する方に無償で提供</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>相談関係者に対する研修及び相談に関する女性問題の解決に向けた啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修</li> <li>・相談関連講座</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修 実施回数:2回、参加者数:各30名</li> <li>・相談関連講座 実施回数1回、参加者数20名</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修</li> <li>テーマ:「対人援助職のセルフケア」 全2回実施</li> </ul> <p>①セルフケア力を高める 参加者:会場15名、オンデマンド110名</p> <p>②マインドフルネス体験 参加者:19名</p> <p>・相談関連講座</p> <p>①「近いしき仲にも礼儀あり?!～心地よい親子関係～」 参加者:29名</p> <p>②女性居場所づくり「ゆるりのしつぽ」 実施回数:6回 参加者:延べ126名</p> <p>※「コスメバンクプロジェクト」と連携し、化粧品セットを初参加で希望する方に無償で提供</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>相談関係者に対する研修及び相談に関する女性問題の解決に向けた啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修</li> <li>・相談関連講座</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修 実施回数:2回、参加者数:各30名</li> <li>・相談関連講座 実施回数1回、参加者数20名</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合:30%以下</p>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修 研修を通じて、県内相談機関及び相談員との連携を推進することができた。また、オンデマンド配信を実施したことで、受講者の増加につながった。</li> <li>・関連講座 女性の居場所づくり「ゆるりのしつぽ」第4回において「ふらりとゆるりとつながる相談会」を開催。複合的な悩みを抱え、生きづらさを感じている女性の孤立や孤独を防ぐよう、一時的な支援と合わせて、安心して相談できる機会を提供できた。</li> </ul>	R3	B	評価基準	R4	B	A:目標達成	R5	B	B:概ね達成	R6	B	C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員スキルアップ研修 喪失による悲しみを乗り越えるための回復プロセスや、悲嘆と病との線引きを学ぶ研修を行う。オンデマンド配信を実施し、参加者の増加につなげる。 「喪失を支える ～回復のプロセスと寄り添う支援～」</li> <li>①6月29日開催 ②8月2日開催</li> <li>・女性の居場所づくり事業「ゆるりのしつぽ」全2回 ①5月25日開催 ②12月</li> </ul>
R3	B	評価基準																		
R4	B	A:目標達成																		
R5	B	B:概ね達成																		
R6	B	C:少し下回った																		
R7		D:大きく下回った																		
			<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>378</td> <td>654</td> <td>518</td> <td>647</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(講座チラシ)</p>	R3	R4	R5	R6	R7	378	654	518	647								
R3	R4	R5	R6	R7																
378	654	518	647																	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
2	ウ	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>管理職を対象としたハラスメント防止に関する研修については、対象者ができるだけ受講できるよう8コース設定した。</p> <p>また、令和2年度から実施しているため、ハラスメントに関する基礎知識はすでに理解しているという前提で講義内容を組み立て、新たに心理的安全性に関する内容を追加した。さらに、実際にハラスメントが発生した際の対応方法や自分自身の行動傾向などについてグループでケース検討を行うなど、実践的な講義内容とした。</p> <p>令和6年度からは受講対象者を部長級まで拡大し、組織全体で取組む問題として効果的な研修機会とした。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th><th>R3</th><th>A</th><th>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>R4</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R5</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R6</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R7</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●風通しの良い職場環境づくり研修…(330人、受講率76%)</li> <li>・ハラスメント苦情相談員の周知について、6月に府内掲示を行い、新採研修(4月、10月、1月実施)において周知を行った。</li> </ul>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った		R4	A			R5	A			R6	A			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>ハラスメントのない職場を目指して、研修内容の充実を図るとともに、受講対象者に研修の必要性を理解させ、受講を促す。</p> <p>また、研修の効果についても検証し、今後の研修内容に反映していく。</p>
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った																						
	R4	A																							
	R5	A																							
	R6	A																							
	R7																								
あらゆるハラスメントを防止するための啓発の充実	D V や ハ ラ ス メ ン ト の な い 社 会 を つ く り ま し よ う	25 ハラスメント防止研修	<p>◆事業(概要)</p> <p>市職員等を対象としたハラスメント防止ト研修を実施し、職場におけるハラスメントの防止と、ハラスメントの事態が生じた際の迅速・適切な対応について、理解を深めてもらう。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>職員一人ひとりが、お互いの価値観等の違いを認め、尊重し、協力し合うことで、ハラスメントのない職場づくりを目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理監督職員を対象に、ハラスメント防止に関する内容を含めた職場環境づくり研修を実施する。</li> <li>・ハラスメント苦情相談窓口の周知を図る。</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>セクシュアル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th><th>・事業がプランの数値目標に結びつかず。</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>効率性</td><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td></tr> <tr><td>配夫慮</td><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		0	0	0	0		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつかず。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	配夫慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
	0	0	0	0																					
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつかず。																								
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																								
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																								
配夫慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																								

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																	
2	ウ	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター講師 17件 参加者数2,077名(うち男性790名)</li> </ul> <p>◆事業(概要) ハラスメント防止に関する出前講座の実施。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) 申込に応じて出前講座に講師を派遣する。</p> <p>(参考)関連する数値目標 セクシャル・ハラスメントを内容まで知っていると答えた人の割合:70%以上</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> <tr> <td colspan="3">◆検証《達成状況、その要因》</td> </tr> <tr> <td colspan="3">出前講座の依頼件数及び参加者数は前年度に比べ約1.2倍と増加した。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>58</td> <td>103</td> <td>139</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(出前講座紹介チラシ)</p>	自課評価	R3	A	評価基準	R4	A	A:目標達成	R5	A	B:概ね達成	R6	A	C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	◆検証《達成状況、その要因》			出前講座の依頼件数及び参加者数は前年度に比べ約1.2倍と増加した。			決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	29	58	103	139		<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き広報によるニーズの掘り起こしや、郡部からも参加しやすいように、講座のオンデマンドまたはライブ配信を活用する。</li> <li>・ソーレ登録のサポーター講師の発掘を行う。</li> </ul>
自課評価	R3	A	評価基準																																			
	R4	A	A:目標達成																																			
	R5	A	B:概ね達成																																			
	R6	A	C:少し下回った																																			
	R7		D:大きく下回った																																			
	◆検証《達成状況、その要因》																																					
	出前講座の依頼件数及び参加者数は前年度に比べ約1.2倍と増加した。																																					
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																	
	29	58	103	139																																		
DVやハラスメントを防止するための啓発の充実をつくりましょう																																						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
2	ウ	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 月1回 相談件数6件</p> <p>実施時期 毎月第4土曜日 13:30～16:30</p> <p>実施方法 専門相談員による電話相談</p> <p>◆事業(概要) にじいろコール(LGBTsに関する相談) 毎月第4土曜日 13:30～16:30 専用電話番号(フリーダイヤル)で専門の相談員がLGBTsに関する相談を受ける。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) LGBTsに関する相談を受ける。</p> <p>(参考)関連する数値目標 —</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>D</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》 情報紙に相談室の案内を毎号掲載するとともに、テレビ、ラジオ、SNS等により積極的な広報を行った。相談件数は前年より減少した。</p>	自課評価	R3	D	評価基準	R4	B	A:目標達成	R5	B	B:概ね達成	R6	B	C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き、相談窓口についての積極的な広報を行い、県内全域への周知を図る。</p>
自課評価	R3	D	評価基準																		
R4	B	A:目標達成																			
R5	B	B:概ね達成																			
R6	B	C:少し下回った																			
R7		D:大きく下回った																			
D V や ハ ラ ス メ ン ト を 防 止 す る た め の 啓 発 の 充 実	あらゆるハラスメントをつくりましよう		<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>218</td> <td>156</td> <td>157</td> <td>156</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(相談窓口紹介チラシ)</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	218	156	157	156								
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
218	156	157	156																		

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
3	ア	No. 事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・表彰企業数1社(応募1社)。 日興電設株式会社 ・8月20日に本庁舎特別応接室にて表彰式を実施した。	自課評価 R3 A 評価基準 R4 A A:目標達成(100%以上) R5 A B:概ね達成(80~100%未満) R6 D C:少し下回った(60~80%未満) R7 D D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・多くの市内事業者へ応募してもらえるよう募集時の広報の仕方を工夫する。 ・募集時の広報や表彰企業の好事例紹介を通して、市内事業者へ男女共同参画の取組の浸透を図っていく。
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	ワーク・ライフ・バランスの推進	28 男女共同参画推進企業表彰	◆事業(概要) 「男女がともに輝く高知市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画の推進に関する活動を積極的に実施している事業者を表彰し、市内事業者の男女共同参画推進を目指す。	◆検証《達成状況、その要因》 ・目標数に至らなかった。 ・応募について、問い合わせは数社あったが、要件を満たさず、応募には至らなかつたため、応募要件の見直しや広報の工夫等が必要。 ・受賞企業の取組内容を紹介したチラシ、動画を作成し、事業のPRを行つた。	
		◆男女共同参画の視点 育児・介護休業制度の充実やワーク・ライフ・バランスの推進、女性活躍を支援する取組などを積極的に実施する事業者を表彰することで、働く場におけるジェンダー平等の意識向上を図る。	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7 28 20 29 25	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
		◆活動指標(目標) 表彰企業数 3社以上	担当課 人権同和・男女共同参画課 写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
		(参考)関連する数値目標 高知市男女共同参画推進企業の表彰企業数:毎年3社以上		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】
				工夫 配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
		No.	事業名								
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	ワーク・ライフ・バランスの推進	3	ア	29	男性職員の子育て参加の促進	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・育児休業を実際に取得した男性職員の名簿や、体験記を庁内掲示し、広く職員全体に対して周知を図った。  ・国・地方の公務員に係る男性の育児休業取得率の政府目標を踏まえ、本市の特定事業主行動計画に定める男性職員の育児休業取得率の令和7年度末時点の数値目標を、「2週間以上の取得率85%」に引き上げたことを受け、男性職員の育児休業等取得促進に向けて以下の取組を新たに実施した。 ○男性職員に特化した育児に係る休暇制度をまとめた冊子の作成 ○男性職員の育児に係る休暇制度等に関する相談窓口の設置 ○子どもの誕生が予定されている男性職員からの育児休業を含む休暇取得計画の提出	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・特定事業主行動計画の計画期間が令和7年度末で満了することから、現状を検証した上で、次期計画に定める数値目標や取組について検討を行う。 ・令和6年度からの新たな取組(男性用冊子の作成、相談窓口の設置、育児休業等に関する取得計画の提出)についても、実効性の高い取組となるよう適宜見直しを図っていく。 ・配偶者出産時特別休暇や育児参加特別休暇の取得率は上昇しているものの、数値目標(取得率100%)には及ばないことから、休暇の内容や手続等について周知を図っていく。
		◆事業(概要) 子どもが生まれる予定の男性職員による育児休業等の取得計画作成や所属長等による取得勧奨の取組等により、男性職員の育児休業等の取得促進を図るとともに、子育てに理解ある職場風土の形成を図るために、子育てや関係する各種制度について職員への継続的な情報提供を行う。	○令和6年度実績 ・男性職員育児休業取得率:84.6% ・配偶者出産時特別休暇取得率:92.3% ・育児参加特別休暇取得率:80.0%								
		◆男女共同参画の視点からの目的 男性職員が積極的に育児に参加することで、家族の育児に対する不安やストレスが軽減されるとともに、配偶者のキャリア形成等につながる。	・国の「こども未来戦略」に基づく各種施策により、男性の育児参加の機運が高まってきており、育児に係る休暇取得計画の提出、職員への継続的な情報提供等の取組により、男性職員の育児休業取得率は大幅に上昇し、特定事業主行動計画における令和7年度末時点の数値目標の達成まで0.4ポイントとなった。								
		決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント		
		担当課	人事課					【特に良かった点等】			
		写真等						【課題等】			
		必要性	・事業がプランの数値目標に結びつかず。								
		効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。								
		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。								
		工夫 配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。								

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
3	ア	No. 事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 中小企業等に対する助成制度を中心に、労働関連法の改正等の情報を掲載した。できるだけ多くの方に読んでいただけるように、読者目線で興味を引く内容となるよう心がけた。	自課評価 R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 引き続き労働ニュースを発行し、雇用、労働の制度改正に関するニュースを中心に、時宜にかなった情報を届ける。
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	ワーク・ライフ・バランスの推進	30 「高知市労働ニュース」の充実・情報提供の拡充	◆事業(概要) 平成18年度から発行している「高知市労働ニュース」で労働関係の施策について周知を図る。	◆検証《達成状況、その要因》 年4回発行(令和6年度の主な内容) 6月号:産業政策課の助成事業ほか 9月号:職場におけるハラスメントほか 12月号:高知市技能功労者表彰式、高知市男女共同参画推進企業表彰式ほか 3月号:育児・介護休業法の改正ほか		
		◆男女共同参画の視点からの目的 働きたい人が性別にかかわりなくその能力を十分に發揮できるように、労働者や事業者に対して法や制度の周知を図る。	◆推進委員会の点検項目 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】		
		◆活動指標(目標) ・「高知市労働ニュース」を年4回発行し、情報誌への折込や労働組合等に配布するとともに、市ホームページに掲載し幅広く広報を図る。 ※配布先:情報誌「情報プラットフォーム」:1,000部、労働組合:200か所	決算額(千円) R3 R4 R5 R6 R7 9 9 10 6	必要性 効率性 有効性 工夫 配慮	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
		(参考)関連する数値目標	写真等 産業政策課	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】	
		高知市男女共同参画推進企業表彰の表彰企業数:毎年3社以上		・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
3	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>男性の家事・介護への参加を促進し、性別役割分担についての気づきやワークライフバランスの充実について考える講座として座学や講話、親子料理教室等を実施した。</p> <p>①家事男親子料理教室 講師：山本尚高(ザクラウンパレス新阪急高知副総料理長) 参加者：10名</p> <p>②家事男料理教室 講師：島村昌利(RKC調理製菓専門学校校長) 参加者：9名</p> <p>③「ケアメンをサポート」男性介護者のためのオンデマンド 参加者：92名 講師：苅谷 貢(認知症の人と家族の会高知県支部副代表) 講師：中山祐介、福島新二(男性介護者) 講師：田部佳枝(高知市基幹型地域包括支援センター)</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>C</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>第3回講座をオンデマンド配信することで、来館が困難な介護者の参加につながった。固定的な性別役割分担意識やワークライフバランスについて考える機会を提供できた。</p>	自課評価	R3	C	評価基準	R4	B	A:目標達成	R5	B	B:概ね達成	R6	A	C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>男女の性別役割分担意識への気づきと、身辺自立やワークライフバランスについて考える機会を提供し、男性の家事・育児・介護への主体的な参加を促進する。</p> <p>夏休みシーズンに男性保護者(親、祖父)と子(孫)を対象とした料理教室を実施するとともに、家事講座、介護講座を全3回実施する予定。また、講座の内容によるオンデマンド配信を検討し、受講者の増加につなげる。</p>
自課評価	R3	C	評価基準																		
	R4	B	A:目標達成																		
	R5	B	B:概ね達成																		
	R6	A	C:少し下回った																		
	R7		D:大きく下回った																		
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましよう  ワーク・ライフ・バランスの推進	31 ワークライフバランス事業 (男性家事・介護基礎講座)	◆事業(概要)	・男性家事・介護基礎講座 男性の家事・育児・介護への参画を促進し、男女の性別役割分業についての気づきと身辺自立やワーク・ライフ・バランスの充実について考える機会を提供する。 夏休み親子教室、家事講座、介護講座の3講座を実施。	決算額(千円) R3 27	R4 163	R5 219	R6 108	R7													
		◆男女共同参画の視点からの目的	社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。	担当課	ソーレ																
		◆活動指標(目標)	・男性家事・介護基礎講座 実施回数 3回 参加者数 66名	写真等(講座チラシ、講座第2回目の様子)																	
		(参考)関連する数値目標	—	 																	

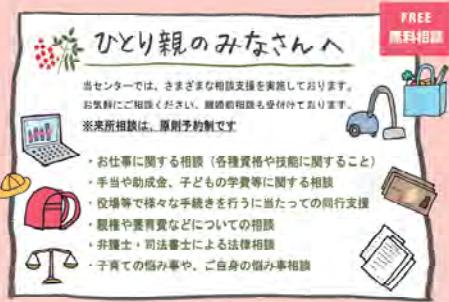
基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
3 イ	No.	事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>感染症の影響が少ないなかで年間を通して開設することができた。乳児や妊婦が多く利用する施設であることから、施設の衛生管理を徹底し、利用者が安心して過ごせる環境となるよう図った。</p> <p>当事業を実施している施設は妊娠期から子育て期にかけて、切れ目ない支援を行い、保護者の性別に関わらず、利用することができる施設である。父親の利用は土日祝が中心ではあるが、育児休業中の父親の平日の利用もあり、父親が子どもと過ごしやすいよう母親とは違う関わり方ができるよう取り組んだ。</p> <p>また、地域団体や学生等と連携した行事や講座の実施を通して、地域とつながるよう図つた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th><th>R3</th><th>A</th><th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>R4</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R5</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R6</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R7</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>延べ利用者数:90,024人 子ども:45,601人 大人:44,423人(うち父親 4,146人) 施設数:16か所 市内16か所の施設で子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が受けられるよう図った。 延べ利用者数は目標を上回り、令和6年度は前年度より843人増であった。大人の利用者のうち、父親の利用者は令和5年度より492人増となっており、父親が占める割合も令和5年度の8.3%から令和6年度は9.3%と父親の利用が増えている。</p>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)		R4	A			R5	A			R6	A			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>市内16か所の施設で、子育て親子が交流し、相談や情報提供等の援助が得られるよう事業を実施している。今後は地域との繋がりづくりに取組んでいく。 土曜日に6施設、日曜日に4施設、祝日に3施設が開設しており、父親を含め様々な家庭の事情に沿った利用しやすい環境となるよう図っている。</p> <p>相談・情報提供においては、従来の電話に加えて、メールやブログ、SNS等を活用し、保護者等が必要な時に情報にアクセスできる環境を整えている。</p> <p>なお、延べ利用者数の目標については、子ども・子育て支援法に定める市町村事業計画等に対応した本市における子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に推進するための計画である「第2期高知市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～6年度)」にて設定している事業目標値であり、少子化等を勘案しているもののコロナ禍の影響は勘案されていない。子ども・子育て支援事業計画の目標値は変更されていないことから、本計画の目標値も変更していない。</p>
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)																						
	R4	A																							
	R5	A																							
	R6	A																							
	R7																								
家庭や働く場において多様なニーズに対応した支援の拡充	【子ども育成課所管】 社会福祉法人3か所、学校法人1か所に業務委託して市内4か所(東・西・南・北部)の地域子育て支援センターで実施。また、NPO法人が開設している地域子育て支援センター2か所と学校法人が開設している地域子育て支援センター2か所に補助実施。	<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>性別に関わらず、育児に関わることが子どもの健全育成につながることから、交流・相談の場を男女ともに行きやすく身近なものとなるよう図り、子育て家庭が孤立しないよう、地域での子育て支援を推進していく。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設数(高知市合計)16か所</li> <li>地域子育て支援拠点事業 延べ利用者数(高知市合計)61,600人</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 社会資源「集いの場」状況:705以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>109,979</td><td>118,639</td><td>122,342</td><td>138,259</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	109,979	118,639	122,342	138,259			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>									
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
109,979	118,639	122,342	138,259																						
<p>担当課 子ども育成課</p> <p>写真等</p> 	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>																							
<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>																							
<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>																							
<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【課題等】</p>																							

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
3 イ	No.	事業名	<p>◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>援助会員募集及び講習会案内を市広報誌に掲載するほか、地域の窓口センターや地域子育て支援センター、町内会の回覧板、市が包括連携協定を締結している市内のファミリーマートやこうち生協スーパーの店内、協力いただける市内の量販店やスポーツクラブ等に会員募集のチラシやファミリー・サポートセンターの広報誌を配置してもらい、広く周知を行った。</p> <p>令和6年度は5か所の地域子育て支援センターで事業説明会と出張登録会を実施。利用希望者がスマートに登録・利用できるよう図るとともに両方会員についてもPRした。</p> <p>性別に関わらず要件を満たせば会員登録が可能となっており、援助のマッチングに当たっては、子どもの性格や行動との相性に加え、内容に応じて援助会員個人の得意分野を活かすことができるよう配慮している。</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>B</td> <td>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>令和6年度は、年間4回の援助会員受講が必須の講習会を実施。また、町内会の回覧板でのPRをはじめ、市が包括連携協定を締結している市内ファミリーマート及びこうち生協店頭でのチラシ配置、量販店・スポーツクラブ等でのチラシ配置など、PRを強化した。年度後半に実施した地域子育て支援センターでの出張登録会も効果的であり、会員数合計は目標を上回った。今後も、援助を希望する人や援助したい人に情報を届けることができるよう広報方法等の工夫・検討を行う。</p> <p>会員数合計:1,346人(新規会員合計114人) 依頼会員登録者数798人(男性54人、女性744人)、 6年度新規登録119人(男性11人、女性108人)。 援助会員登録者数498人(男性34人、女性464人)、 6年度新規登録21人(男性1人、女性20人)。 両方会員登録者数50人(男性1人、女性49人)、6年度新規登録4人(男性0人、女性4人)。</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	R4	B		R5	B		R6	A		R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>よりスマートにマッチングをするために援助会員の拡大を図る。その取り組みとして、市内量販店等でのPR強化を行うとともに町内会等地域組織と連携、高知市公式LINE等を活用した広報を行う。</p> <p>また、必要な子育て家庭が必要な支援につながるよう、地域子育て支援センターでの事業説明会と出張登録会を引き続き実施する。</p>
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)																		
	R4	B																			
	R5	B																			
	R6	A																			
	R7																				
家庭や働く場における多様なニーズに対応した支援の拡充	育児・介護における多様なニーズ	<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てと仕事の両立支援を主な目的とした有償ボランティアによる相互援助活動。育児の援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(援助会員)が会員となり、ファミリー・サポート・センターが仲介。</li> <li>・事業は(公財)高知勤労者福祉サービスセンターに委託して実施。</li> <li>・援助内容は、保育施設・学校等への子どもの送り迎え、保育施設の時間外や学校の放課後等、また保護者の病気や冠婚葬祭等の急用時の子どもの預かりなど。援助会員になるためには、所定の講習の受講が必要。</li> <li>・利用料は援助活動終了後、依頼会員が援助会員に直接支払う仕組み。利用料⇒600円~700円/時間(曜日や時間により異なる)</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>就労形態の多様化や共働き家庭の増加等を踏まえ、仕事と家庭生活の両立を支援していくことで、男女がともにいきいきと社会参加できる環境づくりに寄与する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数 1,300人</li> <li>・新規会員数 50人/年</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10,979</td> <td>12,767</td> <td>12,933</td> <td>13,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		10,979	12,767	12,933	13,000							
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	10,979	12,767	12,933	13,000																	
		<p>担当課</p> <p>子ども育成課</p> <p>写真等</p>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</li> </ul> <p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施方法は適切か。</li> <li>・事業コスト、費用対効果は適当か。</li> </ul> <p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の活動指標の達成状況は順調か。</li> <li>・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</li> </ul> <p>工夫・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li> </ul>																		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
		No.	事業名								
家庭や働く場においてジエンダーや平等を実現しますよう 育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	3 イ	34 多様な保育サービスの充実	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業では、施設ごとに毎月のおたよりの発信や、ホームページやInstagramを活用して事業の内容やセンターの雰囲気、育児講座の様子などを知つてもらい、来所しやすいようなPRの工夫をした。また、育児講座などの開催にあたっては、地域の人材を活用しながら、親子で楽しめる新しい内容を取り入れたりした。</li> <li>・子ども・子育て相談支援員を配置し、教育・保育施設などを円滑に利用できるよう、情報提供や個別の相談対応を行った。</li> </ul>		自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシやおたよりの配布、ホームページ・Instagramなどの活用により、子育て世帯に地域子育て支援センターの存在や事業内容を知つてもらえるよう情報提供を継続していく。育児講座については、地域の人材も活用しながら、親子で参加しやすく楽しめる新しい内容を取り入れていき、利用者の増加につなげたい。また、利用者同士が交流したり、気軽に相談ができるような雰囲気作りを心がけていきたい。</li> <li>・利用者支援では、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう情報提供を行い、利用にあたっての不安などに対し、丁寧に聞き取りを行うなど、きめ細やかな支援体制を継続していく。</li> </ul>	
			<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター事業(一般型)…子育て家庭への交流の場の提供と交流の促進、地域の子育て情報の提供や育児講座の実施、育児相談への対応等を行う。</li> <li>・子育て相談事業…子育て相談、園庭開放等</li> <li>・利用者支援事業…子ども・子育て相談支援員を配置し、きめ細やかな支援を行う。</li> </ul>			<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援事業(一般型)保育所併設等8施設で実施し、延べ利用者数は27,410人であった。令和3年度(21,158人)、令和4年度(25,494人)、令和5年度(28,440人)と前年度より減少しているものの、少子化の影響で子どもの数が減っていることやニーズの地域差を考慮すると、一定の成果があったものと考えられる。</li> <li>・待機児童は5名(令和6年4月現在)。令和5年4月現在は5名であった。</li> </ul>					
			<p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>地域での人間関係の希薄化や、子育ての孤立化は深刻な状況であり、子育て不安は高まっている。こうした状況を改善するため、支援体制の充実を図る。親子を、また親同士を「つなぐ」という取組みが重要になってきており、地域ぐるみで子育てを進めていくことが大切であると考えている。</p>			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>			
			<p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センターの利用者数の維持又は増加を目指す。</li> </ul>			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>			
			<p>(参考)関連する数値目標</p> <p>待機児童数:0人</p>			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>			
			<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>488,265</td> <td>41,583</td> <td>42,028</td> <td>47,432</td> <td></td> </tr> </table>			488,265	41,583	42,028	47,432		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>
488,265	41,583	42,028	47,432								
<p>担当課</p> <p>保育幼稚園課</p>			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>						
<p>写真等</p> 			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>						
<p>子育て支援センターおおつ・にじいろひろば</p>			<p>◆推進委員会の点検項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業がプランの数値目標に結びつか。</li> </ul>		<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)			
		No.	事業名								
家庭や働く場においてジエンダー平等を実現しますよう	育児・介護における多様なニーズに対応した支援の拡充	35	生活支援サービスの充実	<b>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</b>		自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		
				令和5年度より、地域の生活支援サービスの充実を図るため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターの専従配置を推進し、その結果、全体の9割のセンターで配置。生活支援コーディネーターが役割を的確に果たし、具体的な活動を展開できるよう、生活支援コーディネーター研修を企画・実施した。加えて、既存の会議体や地域のネットワークを活用し、地域課題について協議する場や機会を設け、住民と協働して課題解決に向けた仕組みづくりを進めている。本年度は、地域住民に生活支援コーディネーターの存在やその役割について理解を深めてもらうことを目的に、「地域支え合いフォーラム」を開催し、住民とともに活動報告を行った。また、その取り組みがメディアにも取り上げられ、広く発信することができた。さらに、第2層協議体としては、年間81回開催。		R4	C				
				<b>◆検証《達成状況、その要因》</b>			R5	B			
				生活支援コーディネーターの専従配置が進み、既存の会議体やネットワークを活用しながら、年間81回開催された地域課題を検討する会議等へ参加することができた。			R6	B			
				これにより、地域課題の共有や解決に向けた検討が進み、地域によっては互助活動の活性化が見られた。しかし、生活支援サービスの充実という観点では、十分な成果には至っていない。			R7				
				今後、生活支援体制整備事業をより効果的に活用するため、既存事業の見直しを進めるとともに、生活支援コーディネーター等を中心とした個別課題から地域全体の課題を把握し、解決に向けた取組に発展できるような仕組みを構築する必要がある。							
				<b>◆推進委員会の点検項目</b>		◆推進委員会から点検コメント	【特に良かった点等】				
				決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		
					291	279	589	1,592			
				担当課	基幹型地域包括支援センター						
											
				工配夫慮	<b>◆参考)関連する数値目標</b>					【課題等】	
					社会資源「集いの場」状況:705以上						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名						
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しよう  女性活躍の推進	3 ウ  36  ◆事業(概要)  ◆男女共同参画の視点からの目的  ◆活動指標(目標)  (参考)関連する数値目標	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》	<p>・県内の工業系高校や大学に具体的な業務内容、勤務条件に福利厚生制度等を加えた職場の魅力を積極的に広報し、インターンシップ生として学生を受け入れた。また、仕事内容について具体的にイメージできるよう、採用ガイドブックに先輩職員の声を掲載した。</p> <p>・ノー残業デー(毎週水曜日)の実施。夏季休暇取得時に計画的な年休取得を通知。</p> <p>・人事考課、職員申告書、所属長からのヒアリング等をもとに、職員の状況を把握し配属先の配慮に務めた。</p> <p>・女性職員の仕事と育児の両立のための新しい取組について、検討、準備を行った。</p> <p>・「職員の給与の男女の差異」をホームページ上で公表した。</p>	自課評価	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》  住民の多様なニーズに対応するため、従来より女性職員の割合が低い技術職においては、女性の入材確保が特に重要である。そのため、引き続き工業系高校や大学の学生をインターンシップ生として積極的に受け入れ、具体的な業務内容や福利厚生について情報提供を行っていく。  また、女性職員が仕事と家庭を両立し、その能力を十分に発揮できるよう、働きやすい職場環境づくりのための取組を継続して行っていく。	
		◆検証《達成状況、その要因》		○令和6年度実績					
				・技術職受験者に占める女性の割合: 7.9%					
				・技術職採用者に占める女性の割合: 8.3%					
				・インターンシップ生として受け入れることで、学生等が具体的に仕事の内容をイメージすることができた。					
				・制度等の周知により、職員が個々に必要な制度等の利用を検討することができた。					
		決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント
		担当課	人事課					・事業がプランの数値目標に結びつかず。	【特に良かった点等】
		写真等						・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
		工夫慮						・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】
								・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)				
		No.	事業名									
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましよう  女性活躍の推進	3 ウ	37	ひとり親家庭等の相談及び就業自立支援	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	自課評価	R3	C	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》			
		<b>◆事業(概要)</b>				R4	B	◆検証《達成状況、その要因》	・広報誌への定期的な掲載や、関係機関にチラシを配付するなど、引き続き周知に務める。			
		ひとり親家庭の幅広い相談内容に対して必要な情報提供や助言等を行う相談業務を行う。子育て給付課に母子・父子自立支援員2名を配置し開庁日は常時相談を受け付けている。 就業相談は、県と共同で「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」をNPO法人に委託し、就業情報の提供、就業のための各種資格や技能取得のための制度案内、保育所等に関する情報提供を実施している。ほかに、弁護士や司法書士の専門相談員による課題整理も行い自立を支援している。				R5	C		・来所電話相談の他、LINEやオンライン相談を実施。法律相談や専門家相談の実施、母子父子支援プログラム策定(個々のケースに応じた自立目標や支援内容を設定し、目標達成後もアフターケアを実施)による支援等を生かしながら、関係機関との連携も図り、自立に向けた適切な支援に繋げた。			
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>				R6	C		・就職実績を増やすことができるよう、引き続き、関係機関と連携をとるとともに、今後も、就職の関するセミナーや就業に繋がる講習会を実施する予定をしている。			
		従前は母子及び寡婦家庭中心の支援であったが、近年は支援の対象を父子家庭も含めたひとり親家庭全般とし、様々な悩みに適切な助言を与えることで生活の安定を図り、就業相談の内容を充実させることによって経済的な自立を目指す。				R7						
		<b>◆活動指標(目標)</b>				<b>◆推進委員会の点検項目</b>						
		・ひとり親家庭支援センターにおける就職率が目標値の60%を超えるよう、効果的な就労支援を行う。				必要性	◆推進委員会から点検コメント					
		<b>(参考)関連する数値目標</b>					【特に良かった点等】					
		—										
						効率性	【課題等】					
						有効性						
						配慮						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現します。	女性活躍の推進	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
		38	雇用促進・就労支援	参加者は、就職につなげられるように、企業側の人材登用ニーズを踏まえたセミナーのテーマ設定等を検討した。 求職者側と求人側の双方のニーズをマッチングさせるため、セミナーや合同面接会等への参加者のうち希望者を高知市無料職業紹介所の登録につなげ、継続的な支援を行った。	A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	令和7年度の各事業について、次のとおり対応することとする。 ①地域雇用活性化推進事業 国の委託事業である地域雇用活性化推進事業が令和6年度で終了したため、令和7年度から令和9年度の3年間の委託事業を検討し、提案する。 ②高知市無料職業紹介所 本事業と連携して進めている地域雇用活性化推進事業で実施したセミナー受講者に対し、直接面談による職業紹介を継続して実施するなど根気強くサポートを続けていく。
		<b>◆事業(概要)</b>		◆検証《達成状況、その要因》		
		地域雇用活性化推進事業による接客・販売力向上セミナー・面談会やシニア向けの再就職応援セミナー・面談会等を開催し、女性やシニア世代を含む求職者の就職につなげる。また、セミナー等の受講後は、高知市無料職業紹介所に登録いただき、継続的な就職支援を行う。		参加者数: 131人 就職者数: 109人 (内訳) ①地域雇用活性化推進事業 参加者数 131人(うち就職者数48人) ②高知市無料職業紹介所 就職者数 61人		
		<b>◆男女共同参画の視点からの目的</b>		◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント	
		女性やシニア世代を含むさまざまな年代層を対象としたセミナー等の実施により、性別や年齢にかかわらず、男女ともにいきいきと働ける社会の実現に寄与する。		必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。	【特に良かった点等】	
		<b>◆活動指標(目標)</b>		効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。		
		・雇用活性化推進事業による就職支援のセミナーの参加者数、セミナー受講後の就職者数(高知市無料職業紹介所による就職者を含む)。 参加者:160人 就職者数:118人		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	【課題等】	
		<b>(参考)関連する数値目標</b>		工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		
		—				

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)							
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましよう	女性活躍の推進	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	R3 R4 R5 R6 R7	B B B B B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 消防職員採用試験の女性受験者を増加させるために、女性をターゲットとした職業説明会を開催することも一つの手と考える。また、女性消防吏員をメインとした広報資料の作成にも取り組みたい。				
		39	女性消防吏員増加に向けた取組み	・職業説明イベントへ女性消防吏員に参加してもらい、消防の職場で女性が活躍していることを広報した。 ・職業広報誌(KENJIN)、中学生の教材(みらいスイッチ)、高知家消防ネットで女性消防吏員を紹介し、女性が活躍できる職場環境であることを広報した。 ・採用説明会で女性専用の消防庁舎設備も整っていることを伝え、女性が働きやすい環境であることを広報した。	自課評価							
			◆事業(概要)	女性消防吏員の増加に向け、女性消防吏員を起用した広報に取り組むとともに、採用説明会等への現役の女性消防吏員の派遣により、その存在を印象付け、消防職員採用試験の女性受験者数増加を図る。			◆検証《達成状況、その要因》 広報誌等、取材依頼があった際は、女性消防吏員を積極的に紹介するようにした。また、職業紹介イベント等、市民の方と直接触れ合う場面に女性消防吏員を派遣した。					
			◆男女共同参画の視点からの目的	警察・自衛隊・海保など公安職の中では消防職が女性職員の比率が最も低いため、総務省消防庁から「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について(平成27年消防庁次長通知)」による女性消防吏員の活躍推進のための積極的な取組の要請があった。市としても、多様な視点・経験を有する職員による対応能力・市民サービスの向上につなげ、さらなる組織の活性化・強化のため、女性消防吏員の増加を目指すとともに、女性の職域拡大により、女性の活躍推進を図る。	決算額(千円)	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
			◆活動指標(目標)	・消防局で実施するイベントや就職説明会、防災訓練等に女性吏員を積極的に派遣し、より多くの市民に女性消防吏員の存在を知つもらう。 ・女性消防吏員及びその働き方をアピールする内容の独自広報物・資料等を作成し、広報活動に利活用する。(総計200枚)	担当課	消防局総務課						【課題等】
			(参考)関連する数値目標	—	写真等	 						
					必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。						
					効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。						
					有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。						
					工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。						

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
3	ウ	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援パソコン講座</li> <li>①基礎Excel講座 実施日:8月3日 参加者:15名</li> <li>②検定対策Excel講座 実施日:8月4日、17日、25日 参加者:10名</li> <li>③Excelサークル3級検定 実施日:9月7日、18日 参加者:5名</li> <li>就労支援講座 「マイクで伝える自己表現力」 実施日:9月8日 参加者:10名</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。</li> <li>ワード・エクセル超基礎講座 エクセル検定講座 その他就労支援講座</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援講座 就労支援パソコン講座 実施回数4回 参加者数 各15名</li> <li>就労支援講座 実施回数1回 参加者数 20名</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>パソコン講座は検定対策講座を設けることで、就労に活かしてもらえる実務的な内容となった。また、「マイクで伝える自己表現力」講座では、マイクの基礎から学ぶことで、就職活動において自信を持って前向きに挑戦するというモチベーションにつながった。</p>	<p>R3 R4 R5 R6 R7</p> <p>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援パソコン講座修了者の就業状況についてのアンケートを実施する。</li> <li>職場で活用できるスキルの習得を目的とした就労支援講座をオンライン併用で実施し、参加者の拡大を図る。</li> <li>効果的な広報を実施し、講座の周知を図る。</li> </ul>
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しますよう女性活躍の推進	40 女性のための就業支援事業	<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援講座 職場で活用するさまざまなスキルを身に付ける講座を実施し、女性の就労を支援する。</li> <li>ワード・エクセル超基礎講座 エクセル検定講座 その他就労支援講座</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援講座 就労支援パソコン講座 実施回数4回 参加者数 各15名</li> <li>就労支援講座 実施回数1回 参加者数 20名</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>—</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>パソコン講座は検定対策講座を設けることで、就労に活かしてもらえる実務的な内容となった。また、「マイクで伝える自己表現力」講座では、マイクの基礎から学ぶことで、就職活動において自信を持って前向きに挑戦するというモチベーションにつながった。</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援パソコン講座修了者の就業状況についてのアンケートを実施する。</li> <li>職場で活用できるスキルの習得を目的とした就労支援講座をオンライン併用で実施し、参加者の拡大を図る。</li> <li>効果的な広報を実施し、講座の周知を図る。</li> </ul>		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
4 ア  地域で、防災で、 地域活動における女性の参画の促進をすすめましょう	事業名  41 地域コミュニティ再構築事業  ◆事業(概要) 少子化・高齢化、また人口減少社会の到来などによって、将来的な住民自治活動の継続が懸念される中で、今後の地域コミュニティのあり方、協力信頼による住民自治の継続、市民と行政の協働のまちづくりの仕組みづくりを目指すもの。 なお、主な事業として、地域内での連携・協力によって地域課題の解決を目指す仕組みである「地域内連携協議会」の設立・運営に関する支援。当該協議会において、地域の将来を見据えた「新コミュニケーション計画」の策定及び事業を実施するもの。  ◆男女共同参画の視点からの目的 住民自治活動や市民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで、女性の参画により、多様な市民の意見を反映させることができる。  ◆活動指標(目標) 地域内連携協議会の認定(のべ数): 31地域(32小学校区)  (参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 地域共生社会推進本部防災福祉部会のネットワークを活かし、地域状況(ヒト、モノ、コト)の把握に努め、未設立地域におけるまちづくりのキーパーソンへの接触を行った結果、R6年度には一宮小学校区において、R7年度内の設立に向け、準備活動に繋がった。	自課評価  R3 R4 R5 R6 R7	R3 A 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成 (80~100%未満) C:少し下回った (60~80%未満) D:大きく下回った (60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 【地域内連携協議会】地域内連携協議会の未設立地域である春野地域(2小学校区)及び神田地域での設立に向け、地域の各種団体の会議に積極的に参加し、地域活動の状況及びキーパーソンの把握に努める。  【新コミュニケーション計画】R7年度以降の策定を目指し鏡地域においてR6年度に連携協議会員に対し、計画策定に係る説明会を実施した。今後、地域において、まちづくりに関するアンケート等を実施し、その後の策定会議等を通じて、男女を問わず、大人から子どもまで幅広い世代に参画してもらい、多様な意見を計画に反映できるよう努める。  今後も地域内連携協議会及びコミュニケーション計画推進市民会議の総会や定例会へ継続的に参加し、地域活動に積極的な若年層及び女性の人才培养等に努め、事業の承継や多様な視点での住民自治を推進する。
		◆検証《達成状況、その要因》 【地域内連携協議会】R6年度には一宮小学校区において、R7年度内の設立に向け、準備活動に繋がった。 令和6年度末時点で、のべ30地域(31小学校区)で設立。 【新コミュニケーション計画】新たに江ノ口小学校区で第1期計画を策定した。			
		引き続き、女性の参画による多様な市民の意見を反映できるように、地域の状況に沿った支援を行っていく。			
		決算額(千円) 5,044 7,448 10,279 14,536		◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつくか。	
		担当課 地域コミュニティ推進課		効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
		写真等 		有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	
				工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
					◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
					【課題等】

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況点検シート

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	D <sub>0</sub> (実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
		No.	事業名			
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  地域活動における女性の参画の促進	ア  42 スポーツ指導者の育成	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>スポーツ指導員同士の交流の場、指導活動の場についてさらに増やしていく必要があると考える。 懇親会や全体研修会など毎年開催している会への出席をさらに促し、交流の場を増やしていく。 その中で指導員としての活動意識をさらに向上させ高知市のスポーツ振興に繋げていく。</p>
		<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>スポーツ指導員更新講習を計5回実施し、45名の方々に受講いただいた。スポーツ指導における基礎から応用まで必須の内容をカリキュラムで組んだため、指導員としての活動を見直すきっかけになったと考える。</p> <p>◆事業(概要)</p> <p>地域スポーツの推進役として、地域でのスポーツ大会や教室等の企画運営などを行う高知市スポーツ指導員(令和3年度名称変更)の活性化を図るために、スポーツ指導員認定更新講習会を開催し、スポーツ指導者の育成を行う。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>スポーツ指導者における女性の参画を促進するとともに、生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>スポーツ指導員認定更新講習会を年10回実施予定。更新対象者全員の参加を目指す。</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>スポーツ指導員同士の交流の場、指導活動の場についてさらに増やしていく必要があると考える。 懇親会や全体研修会など毎年開催している会への出席をさらに促し、交流の場を増やしていく。 その中で指導員としての活動意識をさらに向上させ高知市のスポーツ振興に繋げていく。</p>		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)	
		No.	事業名						
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  地域活動における女性の参画の促進	ア  消防団の充実強化	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》	令和6年度中に、トイレ等、女性団員に配慮した構造を備えた一宮分団屯所の移転新築が完了した。	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》	◆対応《改善、今後どのようにするか》
		◆事業(概要)	消防団員の定数確保とともに、地域の防災拠点としての機能を併せ持つ消防分団屯所の整備を図り、消防団が地域防災の中核的な役割を担えるよう、体制強化に取り組む。		R4	B	◆検証《達成状況、その要因》	令和7年度は、分屯所建設の予算が計上されない見通しであるが、今後予算計上された際には、スムーズに工事をすすめられるよう調整を図る。	
		◆男女共同参画の視点からの目的	事業の実施により、消防団の役割や必要性の周知を図るとともに、男女共同参画を推進し、地域防災における女性の参画の促進をすすめる。		R5	C	団本部分団が、南国市消防団の女性団員と、お互いの取組みについて意見交換を行うことができた。	他の自治体分団と意見交換会を実施し、得られた意見を自分達の活動に活かすことが出来ている。今後は、現在行っている活動をより良くする必要がある。	
		◆活動指標(目標)	活躍する女性消防団員の意見を伺いながら、消防団の活性化を図り、広報活動等に活かして女性消防団員の増加及び男女共同参画や地域防災活動の普及啓発を行う。		R6	B	団本部分団について、救命講習を5回、防災イベント1回、防火パトロール1回、防災講話1回など、地域防災力向上の取組に参画することができた。	救命講習、防災イベント及び防災講話を通じて地域防災力向上の取組に参画することができた。地域の多様なニーズに女性団員として何ができるか考え、実践していく必要がある。 (女性団員は60人在籍※R7.1時点)	
		(参考)関連する数値目標	高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上		R7		◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント	
		決算額(千円)	R3 -	R4 0	R5 0	R6 0	R7	【特に良かった点等】	
		担当課	消防局総務課					【課題等】	
		写真等							
		工夫	配慮	・事業がプランの数値目標に結びつかず。	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。		

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																																															
4	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>男女共同参画の視点を持ちながら、女性が個々に持つ能力を十分發揮し、課題に対応できる能力を身につけることを目的とする講座を開催した。</p> <p>財団の自主事業である休眠預金活用事業として実施。</p> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンパワメント講座 自己肯定感を高め、女性が自分らしく社会に参画するために必要なスキルを見につける。</li> </ul> <p>※休眠預金活用事業(助成金)により実施</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・エンパワメント講座 参加者数20名</p> <p>(参考)関連する数値目標 高知市における自治会長に占める女性の割合:25%以上</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>D</td> <td>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》 ジェンダー視点での思考と、自分の中の思いを言語化することの意義について気づく機会となつた。</p>	自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	R4	A		R5	A		R6	A		R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 内容:「私たち、この星でどう生きていく? ~女性の人生 傾向と対策~」 実施方法:オンデマンド配信 配信期間:9月12日(金)9:00~9月25日(木)17:00</p>																															
自課評価	R3	D	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った																																																	
	R4	A																																																		
	R5	A																																																		
	R6	A																																																		
	R7																																																			
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  地域活動における女性の参画の促進	44 エンパワメント事業	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>290</td> <td>191</td> <td>26</td> <td>311</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">ソーレ</td> </tr> <tr> <td>写真等(講座のチラシ)</td> <td colspan="5">  </td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	290	191	26	311			担当課	ソーレ					写真等(講座のチラシ)						<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td>290</td> <td>191</td> <td>26</td> <td>311</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="5">ソーレ</td> </tr> <tr> <td>写真等(講座のチラシ)</td> <td colspan="5">  </td> </tr> </table>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7	290	191	26	311			担当課	ソーレ					写真等(講座のチラシ)						<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》 内容:「私たち、この星でどう生きていく? ~女性の人生 傾向と対策~」 実施方法:オンデマンド配信 配信期間:9月12日(金)9:00~9月25日(木)17:00</p>
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																															
290	191	26	311																																																	
担当課	ソーレ																																																			
写真等(講座のチラシ)																																																				
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																																															
290	191	26	311																																																	
担当課	ソーレ																																																			
写真等(講座のチラシ)																																																				

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況報告(点検シート)

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
3	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市総合防災訓練にブース出展し、パネル展示と啓発物品の配布を行った。</li> <li>・防災分野におけるジェンダー平等についての出前講座を実施した(3回)。</li> </ul>	<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td></td><td>評価基準</td></tr> <tr><td>R4</td><td></td><td>A:目標達成(100%以上)</td></tr> <tr><td>R5</td><td>A</td><td>B:概ね達成 (80~100%未満)</td></tr> <tr><td>R6</td><td>A</td><td>C:少し下回った (60~80%未満)</td></tr> <tr><td>R7</td><td></td><td>D:大きく下回った (60%未満)</td></tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市総合防災訓練では「災害時の人権意識は普段から意識することが大切だと思った。」等といった市民の方からの声があり、防災分野におけるジェンダー平等について理解してもらういい機会となった。</li> </ul>	R3		評価基準	R4		A:目標達成(100%以上)	R5	A	B:概ね達成 (80~100%未満)	R6	A	C:少し下回った (60~80%未満)	R7		D:大きく下回った (60%未満)	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>今後も作成した啓発物をSNSやパネル展示等で活用し、啓発を継続していく。</p>	
R3		評価基準																			
R4		A:目標達成(100%以上)																			
R5	A	B:概ね達成 (80~100%未満)																			
R6	A	C:少し下回った (60~80%未満)																			
R7		D:大きく下回った (60%未満)																			
家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しましよう ワーク・ライフ・バランスの推進	45 防災分野におけるジェンダー平等の啓発	◆事業(概要) 防災分野におけるジェンダー平等の啓発を実施する。																			
		◆男女共同参画の視点 ジェンダー平等の視点を取り入れた防災の取組を行うことで地域の防災力向上につなげる。																			
		◆活動指標(目標) ・防災分野におけるジェンダー平等に関する情報発信を行う。 ・高知市総合防災訓練に参加する。																			
		(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上																			
			<p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>105</td><td>73</td><td></td></tr> </table>	R3	R4	R5	R6	R7			105	73		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr><td>必要性</td><td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td></tr> <tr><td>効率性</td><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr><td>有効性</td><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</td></tr> <tr><td>工夫配慮</td><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。	工夫配慮
R3	R4	R5	R6	R7																	
		105	73																		
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																				
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																				
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。																				
工夫配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																				
	<p>担当課</p> <p>人権同和・男女共同参画課</p> <p>写真等</p> 		<p>【課題等】</p>																		

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  防災分野における女性の参画の促進	4 イ	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	◆対応《改善、今後どのようにするか》	
		46	避難所運営体制の整備	・各施設の避難所運営マニュアルのベースとなるテンプレートに、避難所運営体制を確立する際は多様な視点が運営に反映されるよう、女性もメンバーに入ってもらうことを明記し、どの施設の避難所運営マニュアルにも男女共同参画の視点が盛り込まれるようにした。 ・マニュアル作成の際には、避難所のある地域の自主防災組織と意見交換を行い、実際に地域住民がマニュアルに沿った運営ができるものとなるよう配慮した。	・マニュアルへは、避難所運営について、女性に限らず障がい者等、多様な視点が運営に反映されるよう記載している。また、マニュアル検討会や訓練時には、性別や身体の特性によって限られた役割をあてることのないよう、男性のみならず、女性や若い世代等、多様な意見を反映できるよう取り組んでいる。今後も、新たな避難所の指定や、マニュアルを用いた避難所開設・運営訓練を実施することでマニュアルの効果を検証し、必要に応じて作成・改訂を行う。	
		◆事業(概要)		◆検証《達成状況、その要因》		
		大規模災害発生時に避難者が避難所を自主運営できるよう、避難所ごとに「避難所運営マニュアル」を作成する。 また、マニュアルを用いた避難所開設・運営訓練を実施し、マニュアルの効果検証を行う。		・令和6年度に作成を予定していた施設のマニュアルは、すべて作成が完了した。(令和6年度目標3施設、実績:3施設)		
		◆男女共同参画の視点からの目的		◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント	
		・避難所の運営マニュアル作成時に男女共同参画の視点を導入する。 ・避難所開設訓練で男女共同参画の視点を導入する。		必要性	【特に良かった点等】	
		決算額(千円)	R3 R4 R5 R6 R7	・事業がプランの数値目標に結びつかか。		
		419	1,513	899	884	
		担当課	地域防災推進課			
		写真等				
				効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	
				有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	
				工夫 配慮	【課題等】 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	
		(参考)関連する数値目標	—			

基本目標 取組の方向性	Plan(計画)		Do(実施)		Check(点検)		Action(見直し)		
	No.	事業名							
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  防災分野における女性の参画の促進	4	イ	47 れんけいこうち防災人づくり塾	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>令和6年度は、地震や気象災害、災害時の心のケアや、男女共同参画を始めとする多様性の視点などについて取り上げた。</p> <p>また、高知市会場において視覚障害を持つ受講生に対して、教本や講座資料をテキストデータに打ち換えて提供するなどの個別対応を行った。</p> <p>令和6年度は、高知市会場の定員を160人として、5月7日から5月24日の間で募集を行い、募集開始早々に定員に達したため、会場の席数上限まで定員を増やし、5月13日に受付を終了した。</p> <p>サテライト会場については、各会場において高知市会場の講義を録画したDVDを上映した。</p> <p>聴覚障害を持つ受講生に対して、手話通訳者を派遣するなどの対応を行った。また、託児希望の受講生に対して、シッターを派遣するなどの対応を行った。</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>令和6年度れんけいこうち防災人づくり塾修了者数(高知市会場のみ):167人 内訳:男性80人(約48%)、女性87人(約52%) ※10代から80代まで幅広い年齢層の方が修了した。 防災士認定登録者数に占める女性の割合:36.1% (R6)</p>	R3 自課評価	A	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》
	<p>サテライト会場の運営に関しては、今後も、DVDの映像・音声の質を維持させるとともに、参加者や圏域市町村からの要望等を踏まえて、各市町村も開催しやすく、受講生側も参加しやすくなるよう改善していく。</p> <p>引き続き、託児サービス、手話サービスを行うなど、幅広い住民に参加してもらうための運営の検討を行うとともに、防災における男女共同参画の視点に関する講座等を行い、受講者に啓発をしていく。</p>								
	<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>		必要性			・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。								
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。								
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。								
配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。								
<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p>									
<p>【課題等】</p>									

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
4 イ	No.	事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>(1)女性防災リーダー養成推進講座 参加者が「受講して終わり」ではなく、自分で考える力を養い、学んだことを地域活動へ還元する女性リーダーの育成を目的とした講座を開催した。 ①ソーレ・東部会場合同開催(オープン講座) 実施日:4月14日(午前) 参加者:72名 ②ソーレ会場 実施日:4月14日(午後)、5月18日、6月8日、8月24日 参加者:延べ75名 ③東部会場 実施日:5月19日、6月16日、8月25日 参加者:延べ44名 (2)被災地訪問 実施日:7月19日～21日 参加者30名 (3)地域連携フォーラム(安芸市) 実施日:10月6日、参加者67名 (4)地域活動推進 ①出前講座 6件 参加者:237名、オンデマンド:65名 ②防災減災アクションプラン 11件 14回実施 参加者:延べ863名 ③防災・減災講座 実施日:12月14日 参加者:21名 ④防災フェスタ 実施日:12月1日 参加者:600名 ⑤女性防災リーダーサミット 実施日:1月12日～13日 参加者:17名 (5)防災教室(オンデマンド配信) 実施日:10月17日～31日 参加者:280名</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td>評価基準</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>A</td> <td>A:目標達成</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> <td>B:概ね達成</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td>C:少し下回った</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td>D:大きく下回った</td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>・女性防災プロジェクト:講座修了生30名をうち女性防災リーダーとして登録。</p>	自課評価	R3	A	評価基準	R4	A	A:目標達成	R5	A	B:概ね達成	R6	A	C:少し下回った	R7		D:大きく下回った	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性防災プロジェクト:高知市で連続講座(5回)を実施、うち1回はフィールドワークを行う。</li> <li>・講座修了生の地域活動に対する継続的な支援</li> <li>・「女性防災リーダー地域活動推進事業」実施による資金面での支援。</li> </ul>
自課評価	R3	A	評価基準																		
	R4	A	A:目標達成																		
	R5	A	B:概ね達成																		
	R6	A	C:少し下回った																		
	R7		D:大きく下回った																		
地域で、防災で、男女共同参画をすすめましょう  防災分野における女性の参画の促進	48	人材育成事業(女性防災プロジェクト)	<p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性防災プロジェクト ※休眠預金活用事業(助成金)により実施</li> <li>(1)女性防災リーダー養成推進講座 (ソーレ・県西部の二会場)</li> <li>(2)被災地訪問(東北地方)</li> <li>(3)地域連携フォーラム(県西部)</li> <li>(4)地域活動推進(修了生支援等)</li> <li>(5)防災教室等</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性防災リーダー養成推進講座の実施による修了生の育成(30人※ソーレ15人)</li> <li>・修了生による情報発信及び交流活動の実施</li> <li>・修了生への地域活動に向けた支援の実施</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 防災士認定登録者に占める女性の割合:50%以上</p>	<table border="1"> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16</td> <td>553</td> <td>5,539</td> <td>7,634</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 ソーレ</p> <p>写真等(左:講座第1回、右:講座第3回の様子)</p>	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		16	553	5,539	7,634						
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																
	16	553	5,539	7,634																	

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																											
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	<p>No. 事業名</p> <p>49 さまざまな世代やライフスタイルに応じた健康づくりのための講座等の開催</p> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操の実施</li> <li>・低栄養予防(栄養改善活動)事業の実施</li> <li>・いきいき百歳サポートー育成教室の実施</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>介護予防活動への住民参画を促進することで、より活動的な生活となり、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるようになる。</p> <p>既存のいきいき百歳体操等の集いに、体操会場の人間関係を通じ、男性の参加を促す。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操参加者数9,000人/年</li> <li>・いきいき百歳サポートー新規育成数80人/年</li> <li>・いきいき百歳体操等会場における低栄養予防啓発活動の実施箇所割合 25会場/年以上、食品摂取の多様性得点7点以上の人割合 60%以上</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間): 男性 18.90年 女性 22.89年</p>	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>お世話役や参加者の高齢化により、活動が低迷している体操会場もみられており、こうした課題に対して、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターや市社会福祉協議会(市社協)のコミュニティソーシャルワーカー(CSW)などが連携し、体操会場の継続支援や新規立ち上げ支援に取り組んでいる。また、市民が地域のどこで体操が行われているか分かりやすいように、のぼり旗を製作し、希望する会場から順次配布している。</p> <p>体操参加者の高齢化に伴い、虚弱な方や認知症の方の参加も増えており、これを受け、サポートーのフォローアップ研修では、認知症サポートー養成講座やフレイル予防についての講義も内容に加えるなど工夫している。さらに、NPO法人いきいき百歳応援団と連携し、課題や取り組み状況の把握を目的として体操会場の訪問調査を行っているほか、年2回『いきいき百歳新聞』を発行し、情報発信にも努めている。</p> <p>決算額(千円)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> <tr> <td>31,638</td> <td>28,845</td> <td>28,060</td> <td>35,571</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 基幹型地域包括支援センター</p> 		R3	R4	R5	R6	R7	31,638	28,845	28,060	35,571			<p>自課評価</p> <table border="1"> <tr> <td>R3</td> <td>B</td> <td>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>令和6年度末で、いきいき百歳体操会場352会場、かみかみ百歳体操会場335会場、しゃきしゃき百歳体操会場254会場となっている。新型コロナウイルス感染拡大以降、廃止会場が新規会場を上回っていたが、今年度は新規会場が若干増加した。いきいき百歳体操参加者数:6,395人(R6.7.1調査時)</p> <p>住民主体の活動として継続できる支援を強化するため、インストラクター派遣や住民ボランティアの育成にも取り組んでいる。</p> <p>住民ボランティアであるいきいき百歳体操サポートーを令和6年度55人を養成、延べ1,639人(R7.3末)となっている。</p>	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	R4	C		R5	C		R6	B		R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>いきいき百歳体操は、住民主体の介護予防活動として20年以上継続しており、お世話役や参加者の高齢化が進んでいるところに、新型コロナウイルス感染拡大したことで参加者や体操会場が減少している。これから先も高齢者の介護予防を目的に高知市発祥のいきいき百歳体操を継続することができるよう、引き続き、地域包括支援センターに専従配置された生活支援コーディネーターと市社協のCSWが協働しながら伴走支援とともに、いきいき百歳体操を幅広い年代の方に知ってもらうよう情報発信していく。</p>
	R3	R4	R5	R6	R7																											
31,638	28,845	28,060	35,571																													
R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																														
R4	C																															
R5	C																															
R6	B																															
R7																																
				<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫・配慮</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>																			
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																															
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																															
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																															
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																															

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
5	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館事業は市民のニーズに合わせた講座を提供するため、各室の特徴を活かした講座を実施した。また、男性受講生がより参加しやすいよう広報を行い、男女問わず積極的に生涯学習に参加できるよう工夫した。</li> <li>・地域の公民館では、住民のニーズや地域の実情に即した内容の講座を企画・立案し、地域の課題解決につなげるとともに、公民館が世代・性別を問わず地域住民の学習・交流の拠点となるよう多様な学習機会を提供した。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th><th>R3</th><th>B</th><th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>R4</td><td>B</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R5</td><td>B</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R6</td><td>B</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>R7</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中央公民館各種講座等受講者数2,536人</li> <li>・受講数は徐々に増加している。</li> <li>・女性参加率は相変わらず高いが、男性の受講率が3割を超え、やや増加した。</li> </ul> <p>●地域の市立公民館事業参加者数7,137人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の市立公民館で実施した受講後のアンケート調査で、生涯学習の中で身に付けた知識や技術を活かそうとしている人の割合は、R6年度は98.1%と昨年度から微増しており、高い数値を維持している。 (参考:R5年度 97.6%)</li> </ul>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R4	B			R5	B			R6	B			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女問わず、参加意欲を刺激し、生涯学習の機会を増やすような魅力的な講座を実施していく。また、未来の公民館利用者を育てるべく、中央公民館施設を活かしたこども向けの講座を開設する。</li> <li>・地域の公民館では、今後も受講者アンケートの意見等を踏まえ、教養や能力の向上等市民のニーズに応える学習内容のほか、地域の課題解決につながる学習機会の提供に努める。</li> </ul>
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																						
	R4	B																							
	R5	B																							
	R6	B																							
	R7																								
生涯にわたるライフスタイルにおける心と体の健康支援を充実させましょう	あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	50 生涯学習活動の促進	<p>◆事業(概要)</p> <p>市立公民館で年間を通じて各種講座を開設し、広く市民に生涯学習の機会を提供する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>性別・年齢を問わず、生きがいづくりと健康増進、また受講生同士の交流の場となるような講座を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館各種講座等受講者数(3,500人)</li> <li>・地域の市立公民館事業参加者数(5,000人)</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年、女性22.89年</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算額(千円)</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>担当課 文化振興課</p> <p>スマートフォン活用教室 お寿司作り教室</p> 	決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7		-	-	-	-		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>必要性</th><td>・事業がプランの数値目標に結びつか。</td></tr> </thead> <tbody> <tr> <th>効率性</th><td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td></tr> <tr> <th>有効性</th><td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td></tr> <tr> <th>工夫・配慮</th><td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td></tr> </tbody> </table> <p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
決算額(千円)	R3	R4	R5	R6	R7																				
	-	-	-	-																					
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。																								
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																								
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																								
工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																								

高知市男女共同参画推進プラン2021 個別事業実施状況点検シート

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
5	ア	No. 事業名 51 スポーツ推進事業  ◆事業(概要) 小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や各種スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し、男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。  ◆男女共同参画の視点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。  ◆活動指標(目標) 地区体育会での地区運動会の開催 各種スポーツイベントの実施  (参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年(全国平均)	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 地区体育会の地区運動会の実施や、各種スポーツイベントに対する補助を実施し、開催地区的増加を図った。 また、補助金を活用した事業の積極的な取組を促した。	自課評価 R3 D 評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満) R4 C R5 C R6 C R7	◆対応《改善、今後どのようにするか》 高知県健康パスポートとの連携等を実施し、市民の運動会への参加を促すとともに、スポーツ参加による健康増進への意識づけの機会とともに、生涯スポーツの推進につなげる。  ◆検証《達成状況、その要因》 年々運動会等を開催する地区は増加傾向にあるが、地域の高齢化や少子化に伴い、参加できない町内会が増えたり、運動会等への参加者数が減少傾向にある。
生涯にわたる健康生活を充実させましょう  あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	ア	No. 事業名 51 スポーツ推進事業  ◆事業(概要) 小学校区ごとに設置の地区体育会で開催される地区運動会や各種スポーツイベント等が実施されるよう地区体育会への活動支援を実施し、男女ともに年齢を問わずスポーツに触れる機会の提供を図る。  ◆男女共同参画の視点からの目的 生涯を通じた健康支援のため男女ともに、スポーツ活動に親しむことができるよう、生涯スポーツ社会の実現を目指す。  ◆活動指標(目標) 地区体育会での地区運動会の開催 各種スポーツイベントの実施  (参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年(全国平均)	決算額(千円) R3 346 R4 1,381 R5 1,573 R6 1,573 R7	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有效性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。  工夫配慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】  【課題等】

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																				
5	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <p>○4月:年度末年齢42~45歳の方のうち前年度に受診していない方と、46~63歳の方のうち過去5年間に高知市実施の検診の受診履歴のある方で前年度に受診していない方へ、乳がん検診・子宮頸がん検診個別受診券と集団案内を送付。</p> <p>○6月:乳がん検診は年度末年齢41歳、子宮頸がん検診は年度末年齢21歳の方へ、無料クーポン券付受診券を送付。</p> <p>○7月:女性健診受診のオンライン申込み開始。広報あかるいまち7月号で女性健診の実施と申込み方法(オンライン)についての記事を掲載。</p> <p>○11月:年度末年齢20歳~39歳の方のうち平成30年度~令和4年度に子宮頸がん検診の受診歴があるが、令和5年度及び令和6年度に未受診の方へ子宮頸がん受診勧奨はがきを送付。</p> <p>○12月:高知市のがん検診を未受診の方がいる世帯へ受診案内はがきを送付。(40歳~69歳の未受診の方がいる世帯)</p> <p>○1月:高知市成人式で配布されるチラシに子宮頸がん検診受診案内を掲載。</p> <p>○2月:次年度の集団検診申込書を送付。</p> <p>○3月:令和7年度に大腸がん検診実施機関に啓発ポスターを送付。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、がんの早期発見のための検診機会を確保する。</p> <p>◆活動指標(目標) ・子宮頸がん検診受診率 17%以上 ・乳がん検診受診率 20%以上</p> <p>(参考)関連する数値目標 子宮頸がん検診受診率:20%以上 乳がん検診受診率:22%以上</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自課評価</th> <th>R3</th> <th>B</th> <th>評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>R4</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R5</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R6</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん検診:16.6%</li> <li>乳がん検診:19.3%</li> </ul> <p>子宮頸がん検診については、21歳に無料クーポン券付受診券で受診勧奨をして以降、受診勧奨ができるいなかつた39歳までの方に、受診勧奨はがきの送付を令和6年度から開始した。</p> <p>◆推進委員会の点検項目</p> <p>必要性:事業がプランの数値目標に結びつかず。</p> <p>効率性:事業実施方法は適切か。 事業コスト、費用対効果は適当か。</p> <p>有効性:事業の活動指標の達成状況は順調か。 事業成果の向上のために具体的取組は妥当か。</p> <p>配慮:男女共同参画の視点からの配慮があるか。</p>	自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)		R4	A			R5	B			R6	B			R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>受診券と一緒に送付する受診案内チラシについて、受診方法がわかりやすく伝わるように改善する。</p> <p>若年層の受診率向上のために、オンライン申し込みを継続し、高知市公式LINEや市広報あかるいまちを活用し、オンライン申し込みの周知を図る。</p> <p>◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
自課評価	R3	B	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)																						
	R4	A																							
	R5	B																							
	R6	B																							
	R7																								
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援		担当課 健康増進課																						
			写真等 実施医療機関に送付した大腸がん検診啓発ポスター																						

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																			
5	ア	No. 事業名	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢に70歳を追加し、40、50、60、70歳の節目年齢を対象として実施。</li> <li>・高知市近隣の市町村でも受診できるよう県内統一広域での個別歯科医療機関委託で実施。</li> <li>・4月に対象者へ個別に案内ハガキで通知。</li> <li>・案内ハガキの情報を整理し、申込みから受診までの流れを分かりやすく記載し、申込みの利便性を図るためにQRコードを掲載。</li> <li>・ホームページ上のWeb受付と、Webを利用しない方のために従来の電話での申込も併用。</li> <li>・各種保健事業でのPR。</li> <li>・広報あかるいまちで啓発記事(6月・11月・2月)を掲載。</li> <li>・申込者が受診に結び付くように、受診票を送付する際に同封するチラシはナッジ理論を活用。</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <p>かかりつけ歯科医を持つ割合が少ない40歳、50歳、60歳、70歳(年度末年齢)の節目年齢の市民を対象に、歯周病検診を委託歯科医療機関における個別検診により実施する。</p> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、生活習慣病などの全身疾患に関連する歯周病を早期に発見し、歯科受診のきっかけづくりとして、成人歯周病検診を実施する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <p>・受診者数 1,200人</p> <p>(参考)関連する数値目標</p> <p>健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.90年 女性22.89年</p>	<p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者1,585名に対して、994名の受診であった。</li> <li>・対象者への個別通知、広報あかるいまちの啓発記事の掲載直後は申込が増加。Web受付により、休日や夜間の申込ができることにより、就業者も申込の利便性が向上している。申込者に対する受診率は前年度より低下しているが、新たに加わった70歳は定期的に歯科受診している割合は他の年代よりも多いことから、申込をしたもの、歯科検診を利用せずに医療で対応した方がいることも影響していると考える。</li> </ul>	<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <p>20歳、30歳の若い世代が高校卒業後、歯科検診を受ける機会がなく、国の健康増進事業では、令和6年度から20・30歳を歯周病検診の対象年齢に追加し、生涯を通じた歯科健診の機会を確保することとしている。本市においても、令和7年度から20・30歳を対象年齢に加え、歯周病検診の機会を確保することで、若い世代からかかりつけ歯科医をもち歯科受診するきっかけづくりとする。</p>																			
生涯にわたるライフスタイルにおける心と体の健康支援を充実させましょう		<table border="1"> <tr> <td>決算額 (千円)</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,274</td> <td>2,672</td> <td>4,211</td> <td>4,996</td> <td></td> </tr> </table> <p>担当課 健康増進課</p> <p>写真等</p>	決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7		2,274	2,672	4,211	4,996		<p>◆推進委員会の点検項目</p> <table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>・事業がプランの数値目標に結びつくか。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</td> </tr> <tr> <td>工夫</td> <td>・男女共同参画の視点からの配慮があるか。</td> </tr> </table>	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。	工夫	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	<p>◆推進委員会から点検コメント</p> <p>【特に良かった点等】</p> <p>【課題等】</p>
決算額 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7																			
	2,274	2,672	4,211	4,996																				
必要性	・事業がプランの数値目標に結びつくか。																							
効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。																							
有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。																							
工夫	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。																							

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
5	A	No. 事業名  54 こころの相談窓口  ◆事業(概要) 市民の誰もがこころの健康について相談できる場として、仕事や生活に不安を感じている方などの相談に対応する。  ◆男女共同参画の視点からの目的 市民の誰もが生涯にわたり社会参加し続けられるように、相談対応を通してこころの健康を保つための支援を行う。  ◆活動指標(目標) 精神保健福祉相談 延べ2,800件  (参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性18.90年 女性22.89年	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 ・精神保健福祉相談は、専用の相談電話(2回線)で主に受付し、来所を希望する方及び職員が訪問が必要と判断した時には来所や訪問での相談にも対応した。 ・パソコンやスマートフォンから簡単にストレス度や落ち込み度などの心の状態がチェックでき、相談窓口が表示されるシステム「こころの体温計」を、高知市ホームページからアクセスできるようにするとともに、名刺サイズのカードにQRコードを載せ配布することで、周知した。 ・高知市公式LINEで相談窓口、こころの体温計へのアクセスを呼びかけた。  ◆担当課 写真等  	自課評価  R3 A 評価基準 R4 A A:目標達成(100%以上) R5 A B:概ね達成(80~100%未満) R6 A C:少し下回った(60~80%未満) R7 A D:大きく下回った(60%未満)  ◆検証《達成状況、その要因》 ・精神保健福祉相談(訪問・来所・電話)の延べ件数 6,980件。 ・こころの体温計へのアクセス数 30,755回。  パソコンやスマートフォン、LINE等の活用により、相談窓口を効果的に周知できていると思われる。	◆対応《改善、今後どのようにするか》 ・引き続き高知市ホームページ、高知市公式LINEなどを活用し、アクセスしやすい相談の場となるよう、広報を行う。 また、市民のこころの健康が保たれるよう相談対応の質を向上していく。
生涯にわたる健康生活を充実させましょう  あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援		決算額(千円) R3 250 R4 262 R5 266 R6 267 R7	健康増進課	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつかず。  効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。  有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。  工夫 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】  【課題等】

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)
生涯にわたる健康生活を充実させましょう  あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	ア	No.	事業名	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》	◆対応《改善、今後どのようにするか》
		55	思春期保健事業	・学校及び養護教諭との連携を図り、児童生徒への啓発につながるよう、年度初めの高知市立学校養護教諭研修会で、事業目的と物品貸し出し方法を記載した資料の配布を行っている。  ・サポート授業については、一定の学校や団体からの依頼があり、保健師・助産師が出前講座を行っている。性教育関係の物品貸出についても、学校等依頼分については全て対応できた。  ・府内思春期保健情報交換会の開催 第1回目では、地域保健課、学校教育課との情報交換会を行い、各課の現状を確認した。第2回目では、妊娠SOS高知みそのランプより相談支援の現状を共有した。	今までの取り組みを継続とともに、今年度は、若い男女が将来のライフプランを考えて、日々の生活や自身の健康と向き合うことができるよう、庁内の関係機関での情報交換会の開催を継続し、連携してプレコンセプションケアの概念をもとにした啓発を行えるよう方法を検討していく。
		◆事業(概要)	・養護教諭の定例会等での啓発を行う。  【思春期教室】 学校で性教育を実施できるように、対象者や授業の内容に合ったサポート、資料教材の提供、物品の貸出しを行う。開催:学校からの依頼	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆検証《達成状況、その要因》
		◆男女共同参画の視点からの目的	・生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重し、相手を思いやり良好な人間関係を構築した上で性関係をもつたために適切な行動を取ることができるように、男女共に生命の誕生やいのちについて伝えていく。 ・男性も主体的に育児をすることの重要性や育児の喜びを、児童と両親の両世代に伝える。 ・将来男女が協力して育児を行うことができるよう、育児に関する実技も男女ともに実施する。	学校で性教育を実施できるように、養護教諭定例会で思春期教室のサポートや性教育関係の物品貸出等について説明、啓発を実施。(毎年)  思春期教室(サポート授業) 保健師2回 助産師10回  性教育関係の物品貸出 小学校:7校、高等学校:2校、その他:3か所延べ18回	思春期教室(サポート授業) 保健師2回 助産師10回  性教育関係の物品貸出 小学校:7校、高等学校:2校、その他:3か所延べ18回
		決算額(千円)	R3 R4 R5 R6 R7	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント
		0 0 0 0	必要性	・事業がプランの数値目標に結びつか。	【特に良かった点等】
		担当課	母子保健課	効率性	・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。
		写真等		有効性	・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。
				工夫・配慮	・男女共同参画の視点からの配慮があるか。
		(参考)関連する数値目標			【課題等】
		—			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)		
生涯にわたる健康生活を充実させましょう あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	ア	No. 事業名	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・市内4カ所に子育て世代包括支援センターを開設。西部と北部については土曜日開所をしており、市民の妊娠届出の利便性を図った。  ◆事業(概要) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援の第一歩として、子育て世代包括支援センターに母子保健コーディネーターを配置し、母子健康手帳交付時の窓口面接、相談支援、医療機関との連絡調整を行うとともに必要な支援につなげる。 ・妊娠期の間に出産・産後・子育てに関する知識・技術を習得し、子育てがイメージできるよう妊娠の他にもパートナーや家族と一緒に参加できる「パパママ教室」を各子育て世代包括支援センターにおいて開催する。 ・妊娠や子育て中の保護者が一人で悩まず気軽に相談できる機会として「妊娠婦子育て相談はぐくみ」を開催する。 ・生後4ヵ月までの乳児のいる全ての子育て家庭を訪問し、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。  ◆男女共同参画の視点からの目的 妊娠期から継続して、出産・子育て期へと切れ目ない支援につなげていくために、必要な情報提供や支援を行う。 教室開催により、出産・子育てにおいて父親や家族のサポートが重要であることの啓発を行うとともに、具体的な実技等を含めた学習の機会を提供する。 ◆活動指標(目標) ・妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援として、子育て世代包括支援センターにおいて、母子健康手帳交付時の妊娠の窓口面接率100%。 ・妊娠期に出産・産後・子育てに関する知識、技術が習得の機会の提供。地域における子育てサービスや相談先の情報提供。 ・パパママ教室参加組数 200組  (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.5	◆具体的な取組《工夫や配慮した点等》 ・市内4カ所に子育て世代包括支援センターを開設。西部と北部については土曜日開所をしており、市民の妊娠届出の利便性を図った。  ◆事業(概要) ・パパママ教室は、1回の定員を増加することで年間回数を見直し(年12回開催)、西部・東部・北部子育て世代包括支援センターで実施した。沐浴体験や妊婦体験を取り入れパートナーの育児参加を促し、育児開始に向けて夫婦の家事分担を準備しておく重要性を講義に入れて啓発した。  ・子育て世代包括支援センターが相談先として周知されて来たことを受け、妊娠婦子育て相談はぐくみも回数を見直した(年18回開催)。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士などの専門職を配置し、様々な相談に対応できる体制にしている。  ・伴走型相談支援を目的に加え、こんにちは赤ちゃん訪問事業として保健師・訪問員による乳児家庭全戸訪問に取り組んだ。	自課評価 R3 A R4 B R5 B R6 A R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 パパママ教室・子育て相談はぐくみは、事業を継続し、子育て世代包括支援センターでも沐浴指導や乳児の計測、離乳食などの個別の相談も実施していく。 ・子育てアプリみらい(母子モ)のプッシュ型通知も継続し、事業の案内や妊娠・出産・育児に関する情報や制度を発信していく。アプリの登録を増やしていくことが課題である。。  ・訪問できなかった世帯に対しても、引き続き、情報提供を実施をするとともに、乳児一般健康診査受診歴や予防接種歴、母子保健事業の利用状況等を確認し、状況把握に努める。
	56 妊娠・出産期等の支援	◆検証《達成状況、その要因》 ・妊娠届出時の妊娠の面接率100%は継続達成。  ・パパママ教室は、妊娠がパートナーや家族と一緒に参加できるため好評。参加組数174組。  ・子育て相談はぐくみは各種専門職による、様々な相談に対応できることが高い満足度につながっているが相談者数は減少。相談者数(延)262人。アンケートによる満足度100%。  ・こんにちは赤ちゃん訪問事業は、出産・子育て応援給付金事業の給付条件に位置づけし、伴走型相談支援の充実を図った。訪問率96.3%。					
	決算額(千円)	R3 1,815	R4 1,798	R5 3,437	R6 3,518	◆推進委員会の点検項目	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】
	担当課	母子保健課					
							
	必要性	<ul style="list-style-type: none"><li>事業がプランの数値目標に結びつかず。</li></ul>					
	効率性	<ul style="list-style-type: none"><li>事業実施方法は適切か。</li><li>事業コスト、費用対効果は適当か。</li></ul>					
	有効性	<ul style="list-style-type: none"><li>事業の活動指標の達成状況は順調か。</li><li>事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。</li></ul>					【課題等】
	工夫 配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>男女共同参画の視点からの配慮があるか。</li></ul>					

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)	
生涯にわたる健康生活を充実させましょう	あらゆるライフスタイルにおける心と体の健康支援	No. 事業名 57 幼児健診  ◆事業(概要) 母子保健法に基づく健康診査として、幼児の成長発達の確認及び子育ての助言を行うため、1歳6か月児健診及び3歳児健診を実施する。 幼児健診受診促進事業として、一定期間の未受診児に対し、子育て支援訪問員や保健師が訪問し受診勧奨をする。訪問して会えない場合、文書による勧奨も実施。  ◆男女共同参画の視点からの目的 受診率向上及び父親の子育て参加の機会促進ため、各健診のうち一定数の日曜健診を実施する。  ◆活動指標(目標) 子どもの発育や発達に関する保護者の育児不安の軽減を図るとともに、幼児の疾患や精神運動発達面での問題を早期に発見し、治療や支援につなげる。 1歳6か月児健診受診率 98% 3歳児健診受診率 95%  (参考)関連する数値目標 低出生体重児出生率:9.5	◆具体的取組《工夫や配慮した点等》 1歳6か月児健診の受診率は、95.2%と前年度を下回り、目標値に至らなかった。コロナ禍で受診可能年齢を2歳半まで延長していたものを終了し、通常の2歳までにしたため、2歳過ぎでの受診が難しくなったためと考えられる。 1歳6か月児健診では、R4年度より子ども育成課と連携し、生活リズムの確立、食習慣に関する保健指導とともに親子絵本ふれあい事業として、絵本の読み聞かせやふれあい遊びを通しての子どもの成長発達を促す啓発を行っている。 3歳児健診の受診率は、100.2%と目標値を超えており、随時の転入者の受診があったからと思われる。 日曜健診は今年も各3回ずつ年6回実施した。1歳6か月児も3歳児も受診率は全体の8.4%程度であり、1回の受診が60名を超えており、日曜健診は父母で来所する割合が高く、子どもの成長発達を父親も確認できる機会となっていると思われる。	自課評価 R3 B R4 B R5 B R6 B R7	評価基準 A:目標達成(100%以上) B:概ね達成(80~100%未満) C:少し下回った(60~80%未満) D:大きく下回った(60%未満)	◆対応《改善、今後どのようにするか》 新型コロナは5類へ移行されたが、基本的な感染対策は実施し、保護者や子どもが安心して受診できるよう、配慮を行う。 健診受診率の向上のため、日曜健診の実施は継続して行い、一定期間の未受診者者に対しては子育て支援訪問員や保健師が手紙や訪問により受診勧奨を継続して実施する。また、父母に対しての育児に関する情報提供の機会とし、内容や方法も検討していくたい。
			◆検証《達成状況、その要因》 1歳6か月児健診 対象者数 1,872人 受診者数 1,781人 受診率 95.2% 受診勧奨訪問実績 93件  3歳児健診 対象者数 2,121人 受診者数 2,124人 受診率 100.1% 受診勧奨訪問実績 147件			
		決算額(千円) R3 18,338 R4 23,289 R5 21,882 R6 21,639 R7	◆推進委員会の点検項目 必要性 ・事業がプランの数値目標に結びつか。	◆推進委員会から点検コメント 【特に良かった点等】		
		担当課 母子保健課 写真等	効率性 ・事業実施方法は適切か。 ・事業コスト、費用対効果は適当か。	【課題等】		
			有効性 ・事業の活動指標の達成状況は順調か。 ・事業成果の向上のために具体的な取組は妥当か。			
			配夫慮 ・男女共同参画の視点からの配慮があるか。			

基本目標	取組の方向性	Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検)	Action(見直し)																
5	ア	No. 事業名 58 相談事業(NO. 23再掲)	<p>◆具体的取組《工夫や配慮した点等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,074件</li> <li>・法律相談 月2回(1人4回まで) 92件</li> <li>・こころの相談 月2回(1回2名まで)48件</li> <li>・男性相談 月4回(1回2名まで) 62件</li> <li>※ 月4回のうち1回をzoomで対応</li> <li>・性的少数者対象:にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 月1回 6件</li> </ul> <p>◆事業(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性対象:一般相談(開館日)</li> <li>・専門相談(法律相談／月2回、こころの相談／月2回)</li> <li>令和3年度からこころの相談を月2回に拡充</li> <li>・男性対象:令和5年度から男性のための悩み相談 月4回に拡充</li> <li>・LGBTsに関する電話相談(にじいろコール)／月1回</li> </ul> <p>◆男女共同参画の視点からの目的</p> <p>社会情勢の変化に注視しながら、男女共同参画やジェンダー平等に関する県民の理解を深めるため、さまざまな形で知る機会を提供する。</p> <p>◆活動指標(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談 2,000件以上</li> </ul> <p>(参考)関連する数値目標 健康寿命(65歳の平均自立期間):男性 18.90年 女性22.89年</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">自課評価</td> <td>R3</td> <td>A</td> <td>評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◆検証《達成状況、その要因》</p> <p>一般相談件数は前年比30.1%減となったものの、前々年度以前と比較すると2,000件前後で推移しており、例年並の水準だった。法律相談、男性相談及びにじいろコールの相談件数は前年度より減少したが、こころの相談は前年度より増加した。</p>	自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った	R4	B		R5	A		R6	A		R7			<p>◆対応《改善、今後どのようにするか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な相談窓口として、情報紙、ホームページ、SNS等で広報し、相談につながるよう引き続き取組む。</li> <li>・男性相談の4回のうち1回を、zoomによるオンライン対応へ変更。</li> </ul>
自課評価	R3	A	評価基準 A:目標達成 B:概ね達成 C:少し下回った D:大きく下回った																		
	R4	B																			
	R5	A																			
	R6	A																			
	R7																				
生涯にわたる健康生活を充実させましょう  あらゆるライフステージにおける心と体の健康支援																					

高知市男女共同参画推進プラン2021 指標(数値目標)シート

基本目標	目標	基準値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	目標値(R7年度末)	担当課
1 一人ひとりの 人権が尊重さ れる社会をつく りましょう	市の審議会等で女性委員が いない審議会数	13会(118会中) (R2)	15会(115会中)	13会(120会中)	15会(119会)	15会(117会)	0会	人権同和・男女共 同参画課
	市職員の女性管理職(課長 補佐以上)の割合	部長副部長 11.6% (R2)	部長副部長 8.9%	部長副部長 9.5%	部長副部長 15.0%	部長副部長 20.0%	14%以上	職員厚生課
		課長 14.1% (R2)	課長 19.1%	課長 21.6%	課長 20.8%	課長 20.2%	22%以上	職員厚生課
		課長補佐 42.4% (R2)	課長補佐 46.8%	課長補佐 44.8%	課長補佐 41.5%	課長補佐 42.6%	45%以上	職員厚生課
	男女の地位が「平等」と回答 した人の割合	各項目の数値は以下 のとおり	—	—	—	—	増加	人権同和・男女共 同参画課
		家庭生活 27.5% (R1)	—	—	—	40.7%	35%以上	人権同和・男女共 同参画課
		職場 25.9% (R1)	—	—	—	31.3%	40%以上	人権同和・男女共 同参画課
		学校教育 63.2% (R1)	—	—	—	46.3%	75%以上	人権同和・男女共 同参画課
		地域活動の場 46.2% (R1)	—	—	—	38.4%	50%以上	人権同和・男女共 同参画課
		政治の場 13.2% (R1)	—	—	—	10.4%	20%以上	人権同和・男女共 同参画課
		法律や制度上 32.5% (R1)	—	—	—	24.8%	35%以上	人権同和・男女共 同参画課
		慣習・しきたり 15.7% (R1)	—	—	—	11.7%	25%以上	人権同和・男女共 同参画課
		社会全体 15.3% (R1)	—	—	—	15.6%	25%以上	人権同和・男女共 同参画課
2 DVやハラスメ ントのない社会 をつくりましょ う	DVについて誰(どこ)にも相 談しなかった人の割合	65.1% (R1)	—	—	—	63.6%	30%以下	人権同和・男女共 同参画課
	DVを内容まで知っていると 答えた人の割合	44.1% (R1)	—	—	—	64.0%	70%以上	人権同和・男女共 同参画課
	セクシュアル・ハラスメントを 内容まで知っていると答 えた人の割合	43.0% (R1)	—	—	—	61.7%	70%以上	人権同和・男女共 同参画課
3 家庭や働く場 においてジエン ダー平等を実 現しましょう	待機児童数	26人 (R2,4)	11人	3人	5人	5人	0人	保育幼稚園課
	高知市男女共同参画推進企 業表彰の表彰企業数	3社 (R2)	8社	6社	6社	1社	毎年3社以上	人権同和・男女共 同参画課
	高知市男性職員の育児休業 取得率	9.9% (R1)	17.9%	32.4%	48.1%	84.6%	85%以上 (2週間以上取得)	職員厚生課
	高知市職員の技術職に占め る女性の割合	9.4% (R2)	11.4%	11.3%	12.0%	12.0%	15%以上	職員厚生課
3 家庭や働く場 においてジエン ダー平等を実 現しましょう	社会資源「集いの場」状況	下記10項目の合計 630 (R1)	610	602	597	576	705以上	—
	いきいき百歳体操(か所)	373か所 (R1)	363か所	353か所	349か所	352か所	—	基幹型地域包括 支援センター
	子育てサークル・子育て支援 サークル(登録団体数)	23か所 (R1)	11か所	8か所	6か所	5か所	—	子ども育成課
	地域子育て支援センター(か 所)	14か所 (R1)	15か所	16か所	16か所	16か所	—	子ども育成課
	子育てサロン(か所)	18か所 (R1)	18か所	18か所	18か所	16か所	—	高知市社会福祉 協議会
	子どもの居場所・子ども食堂 (か所)	36か所 (R1)	35か所	40か所	40か所	37か所	—	高知市社会福祉 協議会
	サロン(か所)	86か所 (R1)	86か所	84か所	84か所	68か所	—	高知市社会福祉 協議会
	認知症カフェ(か所)	23か所 (R1)	26か所	29か所	31か所	32か所	—	基幹型地域包括 支援センター
	地域交流デイサービス【ミニ デイ】(か所)	34か所 (R1)	34か所	31か所	30か所	28か所	—	高齢者支援課
	宅老所(か所)	22か所 (R1)	22か所	22か所	22か所	22か所	—	高齢者支援課
4 地域で、防災 で、男女共同参 画をすすめま しょう	いきいき百歳大交流大会(開 催数)	1 (R1)	未開催	1	1	1	—	基幹型地域包括 支援センター
	自治会長に占める女性の割 合	16.0% (R1)	15.4%	14.1%	14.7%	15.9%	25%以上	人権同和・男女共 同参画課
	防災士認定登録者に占める 女性の割合	30.2% (R1)	30.9%	34.1%	34.2%	36.1%	50%以上	防災政策課
	健康寿命 (65歳の平均自立期間)	男性 17.47年 女性 20.97年 (H29)	男性 17.65年 女性 21.39年 (R元)	男性 17.68年 女性 21.89年 (R2)	男性 17.68年 女性 21.89年 (R3)	男性 17.50年 女性 21.00年 (R4)	男性 18.90年 女性 22.89年 (R4)	健康増進課
	生涯にわたる 健康生活を充 実させましょ う	子宮頸がん検診受診率	15.1% (R1)	14.2%	16.1%	16.5%	16.6%	20%以上
5	乳がん検診受診率	18.8% (R1)	17.3%	19.0%	19.3%	19.3%	22%以上	健康増進課
	低出生体重児出生率 (出生百対)	10 (H30)	11.1 (R1)	9.8 (R2)	10.0 (R3)	10.2 (R4)	9.5以下	母子保健課



## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 一人ひとりの人が尊重される社会をつくりましょう	1	人権同和・男女共同参画課	高知市男女共同参画に関する市民意識調査(5年毎に実施) ①抽出方法 ②抽出日 ③調査期間 ④有効回収数 ⑤有効回収率	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和元年10月2日 ③令和元年10月10日～11月11日 ④1,023人（うち女性605人） ⑤34.1%	-	-	-	-	①住民基本台帳マスターファイルより無作為抽出3,000人 ②令和6年10月23日 ③令和6年11月8日～11月28日 ④872人（うち女性489人） ⑤29.1%
	2	人権同和・男女共同参画課	意識調査「社会通念・慣習・しきたり」などで男女の地位が平等だと思う人の割合	15.7%(市)	-	-	-	-	11.7%(市)
	3	人権同和・男女共同参画課	意識調査「男は仕事、女は家庭などの性別による固定的な役割分担意識に同意しない割合」	70.3%(市)	-	-	-	-	77.8%(市)
	4	人権同和・男女共同参画課	①市審議会等の女性委員比率 ②女性委員0の市審議会等の比率	①30.1% (1,502人のうち女性452人) ②17.3% (138会のうち24会が女性0人)	①32.3% (1,417人のうち女性457人) ②11.0% (118会のうち13会が女性0人)	①31.1% (1,317人のうち女性432人) ②13.0% (115会のうち15会)	①30.7% (1,431人のうち女性439人) ②10.8% (120会のうち13会)	①30.8% (1,423人のうち女性438人) ②12.6% (119会のうち15会)	①31.8% (1,402人のうち女性446人) ②12.8% (117会のうち15会)
	5	職員厚生課	高知市管理・監督職(係長級以上)女性比率	33.1% (612人うち女性203人)	33.3% (620人うち女性207人)	36.0% (630人うち女性227人)	37.5% (634人うち女性238人)	37.6% (633人のうち女性238人)	38.3% (656人のうち女性251人)
	6	学校教育課	市立学校(小・中・特別支援学校)における ①女性教職員人数(比率) ②女性管理職人数(比率)	①932人(67.6%) ②41人(32.5%)	①897人(66.2%) ②40人(32.3%)	①920人(66.4%) ②43人(33.3%)	①896人(64.9%) ②41人(32.0%)	①863人(63.5%) ②56人(43.1%)	①884人(60.8%) ②59人(45.0%)
	7	人権同和・男女共同参画課	【男女共同参画研修】(階層別) ①対象階層 ②参加人数	「男女共同参画の視点からのワーク・ライフ・バランス」 ①主事・技師級 ②306名	「ちゃんと知りたいLGBTs」 ①係長級 ②190名	「SOGI職員研修」 ①全職員 ②530名	「男女共同参画の視点からの防災～災害対応全般の質/効果を上げるため ～」 ①オンライン研修：係長級職員 オンライン研修：全職員 ②オンライン研修：43人 オンライン研修：再生回数167回	「わたしにもある？アンコンシャス・バイアスとは～ジェンダー平等の視点から～」 主任級職員：68人	「WLB：ワーク・ライフ・バランスを考え一均衡を破るゲームチェンジー」 主查級職員：69人
	8	人事課(人材育成)	【男女共同参画研修】 対象：新任課長補佐研修 参加人数	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和2年1月22日 2年目課長補佐級職員等54人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年1月6日 2年目課長補佐級職員等40人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和3年11月5日 2年目課長補佐級職員等36人	「男女共同参画セミナー」 ※実施日 令和4年11月8日 2年目課長補佐級職員等30人	「ダイバーシティ推進研修」 ※実施日 令和5年7月12日 2年目課長補佐級職員等36人	「ダイバーシティ推進研修」 ※実施日 令和6年7月10日 2年目課長補佐級職員等34人
2 DVやハラスメントのない社会をつくりましょう	9	人権同和・男女共同参画課	意識調査「DVを経験したことのある人の割合」	25.2%(市)	-	-	-	-	20.9%(市)
	10	人権同和・男女共同参画課	意識調査「DVについて誰(どこ)にも相談しなかった人の割合」	65.1%(市)	-	-	-	-	63.6%(市)
	11	人権同和・男女共同参画課	ソレ 女性対象一般相談のうち「暴力」に関する相談件数	136件	97件	74件	74件	82件	58件
	12	子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおける児童相談のうち「児童虐待相談」件数	230件(修正)	217件	180件	191件	227件	247件

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2 DVや ハラスメン トのない 社会をつ くりましょ う	13	少年補導センター	街頭補導状況【市少年補導センター】 ①在学少年（小・中・高校・その他の学校） ②非在学少年（有職・無職）	①90人（うち女子8人） ②3人（うち女子0人）	①80人（うち女子23人） ②15人（うち女子1人）	①168人（うち女子28人） ②17人（うち女子4人）	①94人（うち女子23人） ②8人（うち女子1人）	①78人（うち女子14人） ②5人（うち女子0人）	①17人（うち女子5人） ②10人（うち女子0人）
	14	少年補導センター	相談受理状況【市少年補導センター】 夜間電話相談「ゾット119」「ジオナ119」含む ①在学少年（小・中・高校・その他の学校） ②非在学少年（有職・無職）	①167人（うち女子46人） ②1人（うち女子0人）	①132人（うち女子54人） ②2人（うち女子0人）	①97人（うち女子53人） ②2人（うち女子1人）	①97人（うち女子46人） ②1人（うち女子1人）	①90人（うち女子21人） ②0人	①94人（うち女子49人） ②2人（うち女子1人）
3 家庭や 働く場に おいて ジェンダー 平等を実 現しましょ う	15	人権同和・男女 共同参画課	意識調査 「性別による不当な扱いと感じる項目と割 合」	賃金格差 11.6% 昇給・昇格 11.3% 自由に休暇とりにくい9.2% 育児・介護休暇とりにくい 7.1%	-	-	-	-	賃金格差 8.9% 昇給・昇格 8.7% 自由に休暇とりにくい 7.6% 能力が正当に評価されない 7.0%
	16	人権同和・男女 共同参画課	意識調査 「家事を全くしない男性の割合」	15.2%	-	-	-	-	13.1%
	17	職員厚生課	①男性の育児休暇 取得者数・取得率（市職 員） ②配偶者出産休暇 取得者数・取得率（市職 員）	①7人 9.9% ②52人 73.2%	①9人 12.5% ②57人 79.2%	①10人 17.9% ②47人 83.9%	①22人 32.4% ②61人 89.7%	①38人 48.1% ②68人 86.1%	①55人 84.6% ②60人 92.3%
	18	職員厚生課	市新規採用職員（事務職）女性比率 <実施年度別>	57.4% (54人のうち女性31人)	51.2% (41人のうち21人)	78.1% (64人のうち50人)	57.1% (49人のうち28人)	49.2% (63人のうち31人)	49.2% (65人のうち32人)
	19	人事課（人材育 成）	【市女性職員の人材育成・能力開発研修】参 加人数 ①自治大学（25日間） ②市町村アカデミー（a 4日間・b 8日間） ③国際文化アカデミー（5日間） ④その他の研修	①1人 ②1人 ③1人 ④1人	①1人 ②1人 ③0人 ④0人	①0人 ②0人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④0人	①0人 ②1人 ③1人 ④1人	①0人 ②2人 ③1人 ④1人
	20	学校教育課	高等学校進学率 ①全体 ②男 ③女	①98.7% ②97.6% ③99.5%	①98.6% ②98.4% ③98.8%	①98.3% ②98.0%③98.8% 未進学（就職含む） 男 21名 女 11名	①98.5% ②98.2%③98.8%	①97.7% ②96.7% ③98.8%	①98.6% ②98.1% ③99.2%
	21	子育て給付課	ひとり親家庭自立支援相談件数（延件数） <医療・健康、就労、児童、経済的支援等> ①母子家庭相談数 ②父子家庭相談数	①母子家庭 1,019件 ②父子家庭 30件	①母子家庭 1,084件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 825件 ②父子家庭 28件	①母子家庭 1,729件 ②父子家庭 38件	①母子家庭 1,568件 ②父子家庭 67件	①母子家庭 1,380件 ②父子家庭 43件
	22	子育て給付課	母子家庭等就業・自立支援センター事業 【高知県と共同実施】 (就業相談・就業情報提供等支援サービス提供) ①相談件数 ②就業者数	①632件 ②31人（高知市のみ）	①647件 ②21人（高知市のみ）	①691件 ②3人（高知市のみ）	①1,835件 ②20人（高知市のみ）	①1,721件 ②23人（高知市のみ）	①2,150件 ②12人（高知市のみ）
	23	産業政策課	就職につながった市主催セミナー修了者 ①若者就職応援セミナー	①12人（うち女性8人）	①3人（うち女性2名）	①5人（うち女性2人）	①4人（うち女性1人）		

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しますよう	24	母子保健課	母子訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 ②産婦 ③新生児 ④未熟児<21年度から⑧の数に再掲> ⑤乳児 ⑥幼児 ⑦その他 ⑧赤ちゃん誕生おめでと訪問<全戸訪問>(実人数／対象者数=訪問率) ⑨赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (90/179) ②産婦 (274/466) ③新生児 (53/62) ④未熟児 (30/51) ⑤乳児 (407/938) ⑥幼児 (846/1,175) ⑦その他 (12/29) ⑧赤ちゃん合計 2,900人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (2,230/2,289=97.4%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (74/130) ②産婦 (224/441) ③新生児 (47/83) ④未熟児 (10/35) ⑤乳児 (350/776) ⑥幼児 (744/871) ⑦その他 (20/39) ⑧赤ちゃん合計 2,375人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (2,101/2,205=95.3%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (56/96) ②産婦 (231/400) ③新生児 (57/71) ④未熟児 (13/28) ⑤乳児 (283/485) ⑥幼児 (504/626) ⑦その他 (11/15) ⑧赤ちゃん合計 1,721人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (2,118/2,223=95.2%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (62/124) ②産婦 (210/364) ③新生児 (43/58) ④未熟児 (7/7) ⑤乳児 (268/463) ⑥幼児 (604/686) ⑦その他 (3/3) ⑧赤ちゃん合計 1,705人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (1,934/2,037=94.9%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (52/107) ②産婦 (147/328) ③新生児 (52/75) ④未熟児 (22/23) ⑤乳児 (306/618) ⑥幼児 (519/598) ⑦その他 (2/3) ⑧赤ちゃん合計 1,752人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (1,793/1,831=97.9%)	訪問指導(実人数／延人数) ①妊婦 (67/131) ②産婦 (154/358) ③新生児 (90/112) ④未熟児 (133/144) ⑤乳児 (241/495) ⑥幼児 (492/605) ⑦その他 (5/7) ⑧赤ちゃん合計 1,852人(延) ⑨赤ちゃん(訪問率) (1,632/1,659=98.4%)
	25	母子保健課 (地域子育て支援センター)	パパママ教室 (初めての妊娠の方とパートナー対象) ①実参加組数 ②延参加組数	元年度から内容・回数等変更 ・パパママ教室 妊婦 73人、家族 73人 ・パパママひろば 妊婦73人、家族 69人 合計参加総数 146組、288人	・パパママ教室 妊婦 84人、家族 84人 ・パパママひろば 妊婦106人、家族 97人 合計参加総数 190組、371人	・パパママ教室 妊婦 71人、家族 68人 合計参加総数 71組、139人	・パパママ教室 妊婦 134人、家族130人 合計参加総数 134組、264人	・パパママ教室 妊婦189人、家族188人 合計参加総数 189組、377人	・パパママ教室 妊婦174人、家族171人 合計参加総数 174組、345人
	26	子ども育成課	ファミリーサポートセンター ①依頼会員登録者数 ②援助会員登録者数 ③両方会員登録者数 ④活動件数	①784人(男性34人、女性750人) ②441人(男性26人、女性415人) ③62人(男性1人、女性61人) ④5,521件	①741人(男性34人、女性707人) ②447人(男性29人、女性418人) ③55人(男性0人、女性55人) ④4,278件	①727人(男性36人、女性691人) ②443人(男性28人、女性415人) ③51人(男性1人、女性50人) ④5,743件	①720人(男性42人、女性678人) ②456人(男性29人、女性427人) ③50人(男性1人、女性49人) ④4,429件	①751人(男性47人、女性704人) ②479人(男性33人、女性446人) ③49人(男性1人、女性48人) ④4,575件	①798人(男性54人、女性744人) ②498人(男性34人、女性464人) ③50人(男性1人、女性49人) ④3,645件
	27	子ども育成課	病児・病後児童保育実施施設・利用人数 ①細木病院 <定員:6人> ②三愛病院 <定員:6人> ③うらかず保育園<定員:3人> ④もみのさき病院 (合計 利用人数)	① 492人 ② 614人 ③ 235人 ④ 451人 (計1,792人)	① 153人 ② 131人 ③ 125人 ④ 128人 (計537人)	① 281人 ② 170人 ③ 182人 ④ 196人 (計829人)	① 356人 ② 72人 ③ 224人 ④ 166人 (計818人)	① 391人 ② 352人 ③ 238人 ④ 186人 (計1,167人)	① 387人 ② 327人 ③ 153人 ④ 111人 (計978人)
	28	子ども育成課	子育て相談件数(延件数) ③地域子育て支援センター a「あい」 b「ぽけっとランド」 c「くすくすひろば」 d「はるの・わくわくぽけっと」	③a 361件 b 66件 c 130件 d 148件	③a 203件 b 119件 c 103件 d 164件	③a 213件 b 118件 c 192件 d 143件	③a 324件 b 137件 c 153件 d 150件	③a 375件 b 119件 c 214件 d 73件	③a 469件 b 109件 c 92件 d 197件
	29	子ども育成課	放課後児童クラブ ①クラブ数 ②児童数 ③指導員数(男女比)	①92 ②3,507人 ③154人(うち女性153人)	①89 ②3,355人 ③152人(うち女性151人)	①88 ②3,202人 ③151人(うち女性150人)	①84 ②3,395人 ③150人(うち女性149人)	①83 ②3,293人 ③148人(うち女性145人)	①82 ②3,385人 ③141人(うち女性139人)
	30	保育幼稚園課	保育所入所児童数／就学前児童数(入所率) (へき地保育所は除く)	8,657人／15,216人(56.9%)	8,513人／14,653人(58.1%)	8,238人／14,043人(58.7%)	7,888人／13,463人(58.6%)	7,567人／12,977人(58.3%)	7,108人／12,097人(58.8%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3 家庭や働く場においてジェンダー平等を実現しますよう	31	保育幼稚園課	市保育所待機児童数 ①4月1日時点 ②1月1日時点 児童の年齢	① 34人 0歳 5人 1・2歳 28人 3歳以上 1人 ②168人 0歳 116人 1・2歳 52人 3歳以上 0人	①26人 0歳 0人 1・2歳 24人 3歳以上 2人 ②109人 0歳 89人 1・2歳 18人 3歳以上 2人	①11人 0歳 0人 1・2歳 11人 3歳以上 0人 ②79人 0歳 70人 1・2歳 8人 3歳以上 1人	①3人 0歳 0人 1・2歳 3人 3歳以上 0人 ②102人 0歳 94人 1・2歳 8人 3歳以上 1人	①5人 0歳 0人 1・2歳 5人 3歳以上 0人 ②48人 0歳 43人 1・2歳 5人 3歳以上 0人	①5人 0歳 0人 1・2歳 5人 3歳以上 0人 ②36人 0歳 34人 1・2歳 2人 3歳以上 0人
	32	保育幼稚園課	延長保育実施保育所数／認可保育所全数 利用人数	①民営 40園／全61園 ②市営 13園／全26園 ①1,481人+②163人=1,644人	①民営 40園／全61園 ②市営 13園／全26園 ①1,316人+②147人=1,463人	①民営 40園／全61園 ②市営 13園／全26園 ①1,316人+②117人=1,433人	①民営 40園／全61園 ②市営 13園／全26園 ①1,156人+②108人=1,264人	①民営 40園／全61園 ②市営 13園／全26園 ①1,117人+②90人=1,207人	①民営 38園／全61園 ②市営 12園／全26園 ①944人+②84人=1,028人
	33	保育幼稚園課	一時保育実施保育所数 利用人数	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=9,251人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,361人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=4,783人	①民営 4園 ②市営 2園 ①+②=3,427人	①民営 6園 ②市営 2園 ①+②=5,168人	①民営 5園 ②市営 2園 ①+②=5,216人
	34	保育幼稚園課	低月齢保育児受入れ実施保育所数 受入れ人数(待機人数) ①4月1日時点 ②1月1日時点	84園 ①487人 (5人) ②832人 (116人)	84園 ①467人 (0人) ②818人 (89人)	84園 ①377人 (0人) ②776人 (70人)	84園 ①411人 (0人) ②818人 (94人)	84園 ①364人 (0人) ②732人 (43人)	84園 ①279人 (0人) ②704人 (34人)
	35	保育幼稚園課	子育て相談件数(延件数) ①<保育園>	①2,926件	①2,565件	①2,285件	①2,368件	①2,634件	①2,709件
	36	子ども家庭支援センター	子育て相談件数(延件数) ②子ども家庭支援センター-(実数／延件数)	1,057件(延件数)	1,162件(延件数)	1,148件(延件数)	1,176件(延件数)	1,197件(延件数)	1,239件(延件数)
4 地域で、防災で男女共同参画をすすめますよう	37	スポーツ振興課	スポーツ推進指導員数(うち女性数)	380人(うち女性136人)	363人(うち女性129人)	357人(うち女性130人)	341人(うち女性126人)	336人(うち女性118人)	320人(うち女性112人)
	38	人権同和・男女共同参画課	地区人権啓発推進委員会の女性委員比率 (1,141人のうち女性363人)	36.3%	37.8% (993人のうち女性375人)	37.7% (976人のうち女性368人)	38.8% (962人のうち女性373人)	39.5% (951人のうち女性376人)	39.6% (939人のうち女性372人)
	39	くらし・交通安全課	交通安全指導員協議会人数(うち女性数)	196人(うち女性58人)	184人(うち女性57人)	169人(うち女性55人)	175人(うち女性58人)	175名(うち女性57名)	186名(60名)
	40	地域防災推進課	自主防災組織数(組織率)	816組織(96.0%)	824組織(96.0%)	832組織(96.8%)	833組織(96.8%)	840組織(96.8%)	847組織(96.8%)

## 数値報告

施策	番号	担当課	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5 生涯にわたる健康生活を充実させましょう	41	健康増進課	がん検診受診率(検診対象者に対する受診者割合) 【市健康増進課】 ①子宮頸がん ②乳がん	①子宮頸がん 15.1% ②乳がん 18.8%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.4%	①子宮頸がん 14.2% ②乳がん 17.3%	①子宮頸がん 16.1% ②乳がん 19.0%	①子宮頸がん 16.5% ②乳がん 19.3%	①子宮頸がん 16.6% ②乳がん 19.3%
	42	健康増進課	女性健康診査受診者数 対象:20~39歳 内容:一般検診・歯科検診・子宮頸がん検診	219人	179人	145人	167人	209人	214人
	43	【高知県】 (母子保健課)	中絶件数(うち10代)【高知県】	812件(70件)	756件(70件)	694件(53件)	616件(65件)	625件(52件)	555件(61件)
	44	地域保健課	HIV検査件数 相談件数<検査時の相談は除く・夜間含> 【市地域保健課】	検査 368件 相談 47件	検査 201件 相談 22件	検査 258件 相談 12件	検査 280件 相談 40件	検査 329件 相談 40件	検査 278件 相談 26件